

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定

アプリケーションの削除と追加

PC98-**NX** SERIES

mobio NX

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



●『入門ガイド』*

Windowsやワープロの基本操作を解説した、入門者向けのマニュアルです。

- ・NXポイントの基本操作
- ・ワープロ入門 (一太郎/Word)
- ・デスクトップとは
- ・ファイルの使い方
- ・添付アプリケーションの紹介



●『活用ガイド』

このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- ・キーボード、ハードディスクなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について
- ・添付アプリケーションの削除と追加



●『困ったときのQ&A』

さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。

- ・トラブル解決Q&A
- ・再セットアップするには

*『入門ガイド』は、modelC1、modelD1にのみ添付されています。

はじめに

このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法や、添付されているアプリケーションについて説明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュアルをご利用ください。

1997年11月 初版

1997年12月 2 版

1998年 3 月 3 版

対象機種

MB12C/UD model A1(型番:PC-MB12CUDA1) MB12C/UV model C1(型番:PC-MB12CUVC1)
MB12C/UD model C1(型番:PC-MB12CUDC1) MB12C/UV model D1(型番:PC-MB12CUVD1)
MB12C/UD model D1(型番:PC-MB12CUDD1)

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性あります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機

次の各モデルを指します。

MB12C/UD model A1

MB12C/UD model C1

MB12C/UD model D1

MB12C/UV model C1

MB12C/UV model D1

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
インターネット エクスプローラ4.0 またはInternet Explorer 4.0	MB12C/UVの場合 Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95 and Windows NT® 4.0 日本語版 MB12C/UDの場合 Microsoft® Internet Explorer 4.0 for Windows® 95 and Windows NT® 4.0 日本語版
一太郎、一太郎8	MB12C/UVの場合 一太郎8 Office Edition /R.2 MB12C/UDの場合 一太郎8 Office Edition
Excel 97、Word 97、 Outlook 97	Microsoft® Excel 97 & Word 97 & Outlook™ 97 for Windows® (Service Release対応版)

このマニュアルで使用しているイラストと画面

このマニュアルで使用している画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークロゴは参加各国の間で統一されています。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

[バッテリバックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリバックを取り付けている場合]

本装置にバッテリバック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」、「ATOK」、「FullBand」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLジャパン株式会社の登録商標です。

「Angel Line」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

McAfee、McAfee Associates、VirusScan、NetShieldは、米国McAfee Associates, Inc.の米国における登録商標です。

IntelliSync97は米国ブーマテクノロジー社の登録商標です。

MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

PC-VANナビゲータ、BIGLOBE Walkerは、NECの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1997, 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本機の機能	1
各部の名称	2
バッテリーで本機を使う	4
バッテリーの充電	4
バッテリーで本機を使うときの注意	4
バッテリー残量の確認	6
バッテリーパックの交換	7
電源に関する機能	10
サスペンド / レジューム 機能	10
サスペンド / レジューム するときの注意	12
ハイパネーション機能	13
ハイパネーションするときの注意	15
省電力機能	18
表示ランプ	19
キーボード	20
キーの使い方	20
キーボードを設定する	23
日本語入力 of の使い方	25
NXポイント	26
NXポイント of の使い方	26
NXポイントを設定する	27
内蔵ハードディスク	28
ハードディスク of のメンテナンス	28
画面表示機能	30
表示できる解像度と表示色	30
解像度と表示色を変更する	32
セキュリティ機能	34
本機 of のセキュリティ機能	34
パスワード機能 of の使用例	34
パスワードを設定しているときの電源 of の入れ方	36
パスワードを設定しているときのレジューム	36
キーボードロック	37
I/Oロック	37
パソコン間でのデータの通信 / 同期	38
相手装置へのインストール	38

PART

2

接続の準備	39
接続状態のチェック	42
操作方法	42
サウンド機能	44

周辺機器を使う 4 5

周辺機器を利用する	46
ポートバーの取り付け方	46
ポートバーの取り外し方	48
周辺機器を利用するための知識	49
プリンタを使う	51
プリンタの接続	51
プリンタを設定する	52
フロッピーディスクを使う	56
外付けフロッピーディスクドライブを接続する	56
外部ディスプレイを使う	57
CRTディスプレイを接続する	57
プロジェクタを接続する	58
外部ディスプレイの設定	59
PCカードを使う	60
PCカードのセットのし方と取り出し方	61
PCカードの設定	63
メモリ(RAM)の増設	64
増設RAMボードの取り付けと取り外し	64
その他の機器を使う	68
シリアルコネクタ	68
パラレルコネクタ	68
テンキーボード用コネクタ	69
マウス用コネクタ	69

PART

3

システムの設定 7 1

BIOSセットアップユーティリティ	72
BIOSセットアップユーティリティで設定できること	72
BIOSセットアップユーティリティを使う	73

設定項目一覧	74
--------------	----

添付アプリケーションの削除と追加 81

添付アプリケーションの紹介	82
---------------------	----

このPARTの構成について	83
---------------------	----

アプリケーションの削除と追加	84
----------------------	----

削除について	84
--------------	----

追加について	85
--------------	----

一太郎Office8(model C1のみ).....	87
-----------------------------	----

Word 97 & Excel 97 & Outlook 97(model A1/model D1のみ)...	91
---	----

インターネットエクスプローラ4.0	97
-------------------------	----

最新のコンポーネントを追加する	101
-----------------------	-----

インターネットエクスプローラ関連プログラム.....	103
----------------------------	-----

Microsoft Chat 2.0	103
--------------------------	-----

Microsoft NetShow プレーヤー	104
-------------------------------	-----

RealPlayer 4.0	105
----------------------	-----

Outlook Express(Mail&News).....	107
---------------------------------	-----

概要	107
----------	-----

Microsoft NetMeeting	108
----------------------------	-----

概要	108
----------	-----

BIGLOBE Walker	109
----------------------	-----

PC-VANナビゲータ	111
-------------------	-----

AOL	113
-----------	-----

NIFTY MANAGER.....	116
--------------------	-----

VirusScan for Windows 95	119
--------------------------------	-----

駅すばあと全国版 for Windows 95(model C1/model D1のみ)124	
---	--

IntelliSync97	127
---------------------	-----

Angel Line for Windows(model C1/model D1のみ).....	130
--	-----

プレーヤ-NX	133
---------------	-----

CyberTrio-NX	135
--------------------	-----

CyberWarner-NX	139
----------------------	-----

ログファイルについて	139
------------------	-----

英語モードフォントを利用する	144
----------------------	-----

付録..... 1 4 7

Windows 95でMS-DOSモードを利用する 148

MS-DOSモードを利用する 148

本機のお手入れ 150**コンピュータウイルス対策 152****機能一覧..... 155**

機能仕様 155

割り込みレベル・DMAチャンネル 157**索引 1 5 9**

本機の機能

本機の各部の名称とさまざまな機能について説明しています。

このPARTの内容

各部の名称

バッテリーで本機を使う

電源に関する機能

表示ランプ

キーボード

NXポイント

内蔵ハードディスク

画面表示機能

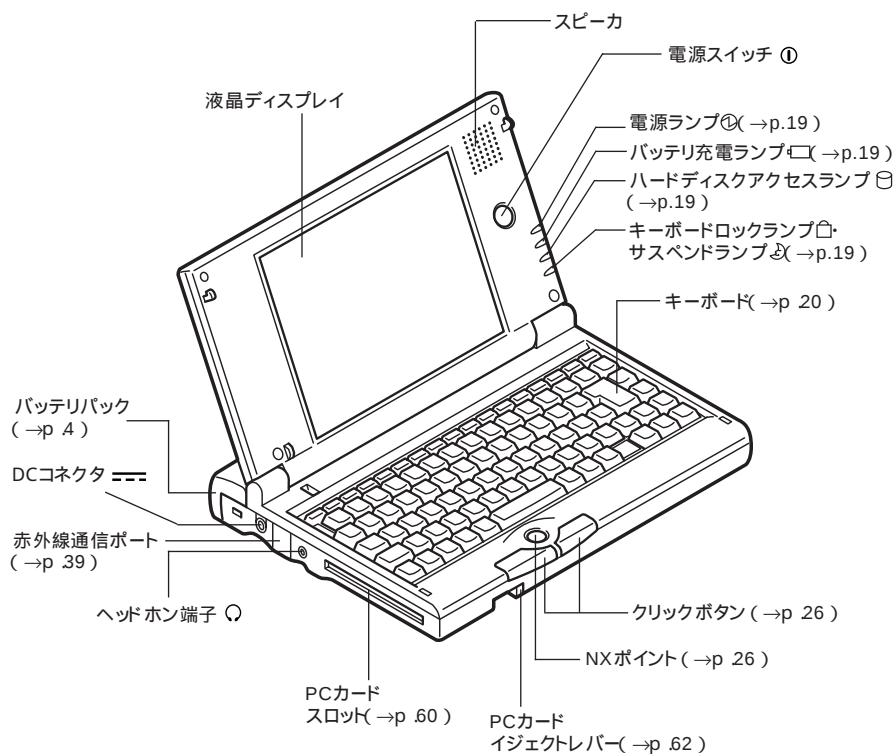
セキュリティ機能

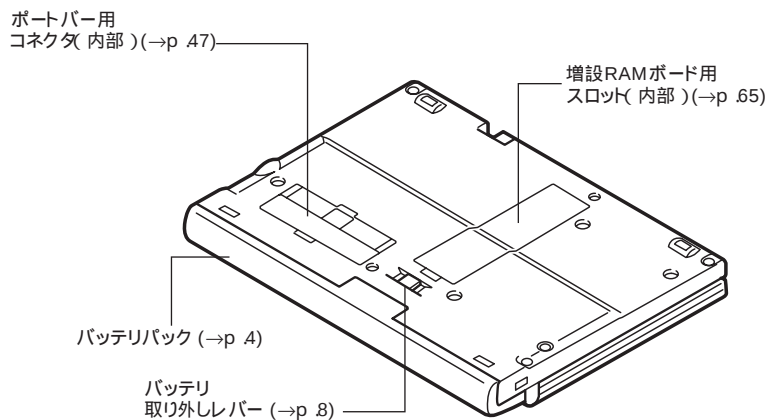
パソコン間でのデータの通信 / 同期

サウンド機能

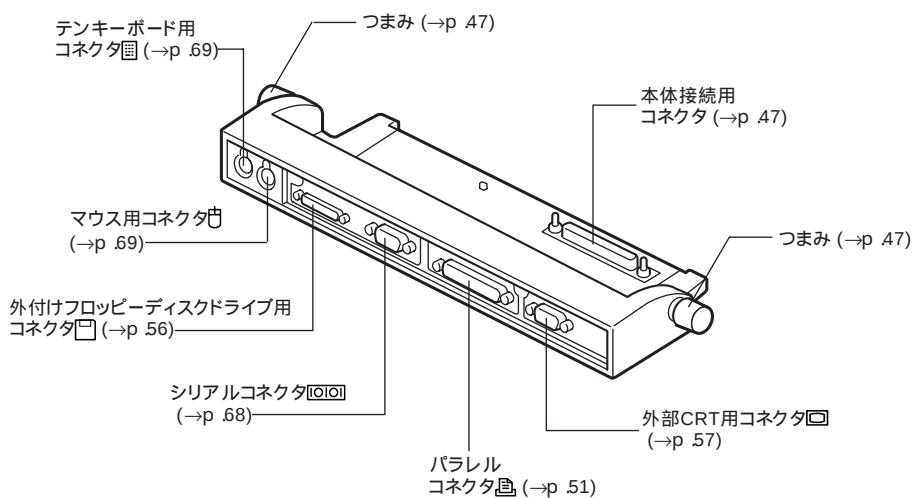
各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。
それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。





ポートバー



バッテリーで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリーパックだけで駆動することができます。

バッテリーの充電

- ✓ **チェック!!** バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。

バッテリーの充電のし方

本機にバッテリーパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーが充電されます。

本機の電源を入れて使用していても充電されますが、電源を切った状態の方が充電時間は短くなります。

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。18～28℃での充電をおすすめします。

参照▶ バッテリーの充電時間について→「機能一覧」(p.156)

充電状態は表示ランプで確認できます

- ・ バッテリー充電中
バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯
- ・ バッテリー充電が完了すると
バッテリー充電ランプが消灯

バッテリーで本機を使うときの注意

- ✓ **チェック!!** ・ バッテリーが十分に充電されているときは、特に必要でない限り、バッテリーパックの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ・ ハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、ハードディスクのデータが壊れることがあります。

バッテリーを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリーを長持ちさせることができます。

- ・ バッテリーの残量がなくなってから充電する
- ・ 充電はフル充電(バッテリー充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・ 本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリーパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリーの上手な使い方

- ・ バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用してください。

参照▶ 省電力機能について→「電源に関する機能」(p.10)

- ・ バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2～3カ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリーの残量が少なくなると、電源ランプがオレンジ色に点灯します。この場合は、次の操作を行ってください。

- ・ ACコンセントから電源を供給する

いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯し、バッテリーの充電が始まります。充電が完了すると、バッテリー充電ランプは消灯します。

- ・ ACコンセントが使えない場合

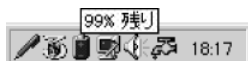
使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作をしないで、そのままにしておくと、再度バッテリー残量が少ないというメッセージが表示されます。しばらくすると、自動的にハイバネーション機能(→p.13)が作動し、作業内容がハードディスクに保存され、電源が切れます。

バッテリー残量の確認

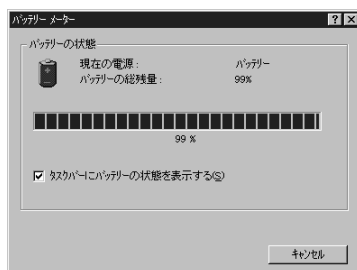
バッテリー残量は、次の3つの方法で確認することができます。

- Windowsのタスクバーにあるの上にマウスポインタを合わせる



(この画面はモデルによって異なることがあります。
また、アイコンはバッテリー残量により異なります)

- タスクバーのをダブルクリックして、表示された「バッテリーメーター」ウィンドウを見る



- 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして、表示された「電源のプロパティ」ウィンドウを見る



ACコンセントから電源を供給しているときは、はに変わります。

Windowsの「スタートボタン」→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして「Windowsでコンピュータの電源を管理する」をにすると、バッテリー残量は表示されません。

バッテリーパックの交換

交換の目安

バッテリーをフル充電（充電してバッテリー充電ランプが消灯した状態）にしても使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリーパックには次の2種類があります。

- PC-VP-UP02
- PC-VP-UP03（大容量バッテリーパック）

バッテリーパックの交換のし方

⚠ 警告



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



破裂注意



毒物注意

- 使用を終えたバッテリーパックを分解したり、火気に投じることは危険です。絶対にしないでください。破裂したり、液漏れしたりすることがあります。

⚠ 注意



感電注意

- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

✓チェック!! ・ バッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。

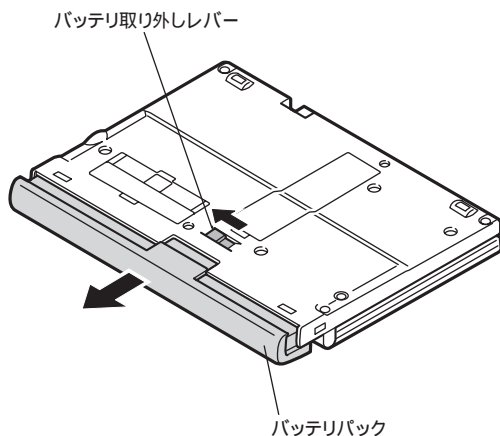
- ・ サスペンド状態のときにバッテリーパックを交換すると、保存中のデータが失われます。サスペンドランプが点灯しているときには、一度レジュームしてデータを保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

1 本機の電源を切る

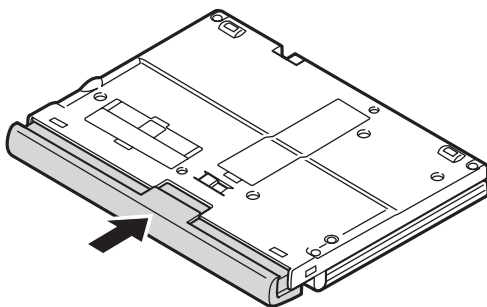
2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す

3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す

4 バッテリー取り外しレバーを図の矢印の方向にスライドさせながらバッテリーパックを矢印方向へ引いて取り外す



5 新しいバッテリーパックを、端子の位置に注意して取り付ける



✓ **チェック!!** 不要になったバッテリーパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

電源に関する機能

本機には、電源に関する便利な機能があります。バッテリー駆動時に設定しておく、駆動時間を長くできるなど省電力の機能として使うことができます。

電源に関する機能には次の3つがあります。

- ・ サスペンド / レジューム機能
- ・ ハイバネーション機能
- ・ 省電力機能

サスペンド / レジューム機能

用語 サスペンド

サスペンド(Suspend)とは「活動などを一時停止する」の意味で、実行中の作業内容をメモリ(RAM)に保存し、そのデータを保持するための微小な電流以外は消費しない省電力状態にすることをいいます。

用語 レジューム

レジューム(Resume)とは「中断した仕事などを再び始める」の意味で、サスペンド状態から、サスペンドする前の状態に戻すことをいいます。Windowsが起動するまでの時間をかけずに、前回サスペンドしたときの作業画面から再開できるため、待ち時間なしに素早く作業を再開できます。

サスペンド / レジューム機能を使うには、次のような方法があります。

- ・ **【Fn】を押したまま【Esc】を押す**
- ・ **電源スイッチを押す**
- ・ **Windowsのスタートメニューを使う**
- ・ **液晶ディスプレイの開閉に連動して行う**
- ・ **自動的にサスペンド / レジュームする(自動スリープ制御)**

 **チェック!!** ・ サスペンド状態にしてから、すぐにレジュームするときは、本機に負担がかかることを避けるため、サスペンドランプが点灯してから5秒以上待つ、レジュームしてください。

- ・ サスペンド / レジューム機能を使用する場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネジメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を☒ (オン)にしておいてください。

【Fn】を押したまま【Esc】を押す

サスペンドするには

【Fn】を押したまま【Esc】を押す

レジュームするには

電源スイッチを押す

電源スイッチを押す

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「サスペンド」に設定(→p.79)してから、「省電力」の「スリープ」で「電源スイッチの設定」を「スリープ」に設定します(→p.79)。

サスペンドするには

電源スイッチを押す

レジュームするには

電源スイッチを押す

Windowsのスタートメニューを使う

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「サスペンド」に設定します(→p.79)。

サスペンドするには

「スタート」ボタン→「サスペンド」をクリックする

レジュームするには

電源スイッチを押す

「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「電源のプロパティ」ウィンドウの「パワーマネージメント」タブで、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を ☐ に設定すると、この方法ではサスペンドできません。また、「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」が ☐ になっている場合は、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

液晶ディスプレイの開閉に連動して行う

サスペンドするには

液晶ディスプレイを閉じる

レジュームするには

液晶ディスプレイを開ける

 **チェック!!** Windowsの終了処理中には液晶ディスプレイを閉じないでください。

自動的にサスペンド/レジュームする(自動スリープ制御)

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「サスペンド」に設定(→p.79)してから「省電力」の「パワーマネジメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でサスペンドするまでの時間を設定します(→p.78)。

サスペンドするには

設定した時間内にポインティングデバイスやキーボードからの入力を行わず、外部からアクセスがない場合に、自動的にサスペンド状態になります

レジュームするには

電源スイッチを押す

■ 設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

時刻指定でレジュームする

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「サスペンド」に設定(→p.79)してから、「省電力」の「レジューム」で「時刻指定でレジューム」を「使用する」に設定(→p.79)し、レジューム時刻を設定します。

 **チェック!!** CyberTrio-NXのモードが「ベーシックモード」になっていると、これらの操作はできません。「アドバンスモード」に変更してください(→p.136)。

サスペンド/レジュームするときの注意

次のようなときはサスペンドしないでください

- ・プリンタへ出力中
- ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
- ・音声または動画を再生中

- ・ハードディスクにアクセス中
- ・電話回線を使って通信中
- ・サスペンド機能に対応していない通信用アプリケーションを実行中
- ・Windows 95の起動中または終了処理中
- ・サスペンド機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・サスペンド機能に対応していないPCカードを使用中

サスペンド処理中の注意

サスペンド処理中とは、サスペンド機能を実行してから本機がサスペンド状態に入るまでの間のことです。サスペンド機能を実行してからはPCカードの入れ替えなどは行わないでください。サスペンド処理中にこのような本機の変更を行うとサスペンドできなくなります。

サスペンド状態のときの注意

- ・サスペンド状態のとき、PCカードの入れ替えなど本機の機器構成を変更すると、正常にレジュームできなくなることがあります。
- ・ACアダプタが未接続で、バッテリーが消耗したときは、サスペンドしたデータが消失し、正常にレジュームできなくなります。

レジューム処理中の注意

レジューム処理中とは、レジューム機能を実行してから本機を起動するまでの間のことです。レジューム機能を実行してからはPCカードの入れ替えなどは行わないでください。レジューム処理中にこのような本機の変更を行うとレジュームできなくなることがあります。

ハイバネーション機能

用語 ハイバネーション

ハイバネーション(Hibernation)とは「冬眠」の意味で、電源を切ると同時に実行中の作業内容が自動的にハードディスクに保存されます。サスペンドと異なり、データ消失の心配はありませんし、電力が消費されないの、バッテリーが節約されます。

ハイバネーション機能を使うには、次のような方法があります。

- ・【Fn】を押したまま【F1】を押す

- ・電源スイッチを押す
- ・Windowsのスタートメニューを使う
- ・自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)



チェック!!

- ・電源を入れたり、切ったりする動作を連続して行くと、本機に負担がかかります。続けて電源を入れるときは、電源が切れてから少なくとも5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- ・Windowsの「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「電源のプロパティ」ウィンドウの「パワーマネージメント」タブで「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を□に設定している場合は、電源スイッチでのハイバネーションができなくなります。

【Fn】を押したまま【F1】を押す

ハイバネーションするには

【Fn】を押したまま【F1】を押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチを押す

電源スイッチを押す

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定(→p.79)してから、「省電力」の「スリープ」で「電源スイッチの設定」を「スリープ」に設定します(→p.79)。

ハイバネーションするには

電源スイッチを押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチを押す

Windowsのスタートメニューを使う

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します(→p.79)。

ハイバネーションするには

「スタート」ボタン→「サスペンド」をクリックする

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチを押す

「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「電源のプロパティ」ウィンドウの「パワーマネージメント」タブで、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を ☐ に設定すると、この方法ではハイバネーションできません。また、「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を ☐ にすると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)

この機能を使うには、BIOSセッティングユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定(→p.79)してから、「省電力」の「パワーマネージメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でハイバネーションするまでの時間を設定します(→p.78)。

ハイバネーションするには

設定した時間内にポインティングデバイスやキーボードからの入力を行わず、外部からアクセスがない場合に、自動的にハイバネーション状態になります

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチを押す

設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

 **チェック!!** CyberTrio-NXのモードが「ベーシックモード」になっていると、この操作は行えません。「アドバンスモード」に変更してください(→p.136)。

ハイバネーションするときの注意

次のようなときはハイバネーションしないでください。

- ・プリンタへ出力中
- ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信用アプリケーションを実行中)
- ・音声または動画を再生中
- ・ハードディスクにアクセス中
- ・電話回線を使って通信中
- ・ハイバネーション機能に対応していない通信用アプリケーションを実行中
- ・ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションを使用中
- ・ハイバネーション機能に対応していないIPCカードを使用中

ハイバネーション処理中の注意

ハイバネーション処理中とは、ハイバネーション機能を実行してから本機がハイバネーション状態に入るまでの間のことです。この間はPCカードの入れ替えなどを行わないでください。ハイバネーション処理中にこのような本機の変更を行うとハイバネーションできなくなります。

ハイバネーション状態のときの注意

ハイバネーション状態で本機の機器構成を変更すると、データを復元できなくなることがあります。

データ復元中の注意

PCカードの入れ替えなど、本機の変更をしないでください。データを復元できなくなります。

メモリを取り付けたり、取り外したりしたときには次の設定が必要です

メモリを取り付けたり、取り外したりしたときや、ハードディスクからハイバネーション用の一時待避ファイルを削除したとき、CDドライブを圧縮や圧縮解除したときには設定が必要です。

-  **チェック!!** ・メモリを取り付けたり、取り外したりした場合は、「ハイバネーション機能を使用しない設定にする」(→p.17)の手順に従い、ハイバネーション用のファイルを削除してから以下の設定を行ってください。
- ・ハイバネーション機能を使うように設定する前に、ハードディスク内にハイバネーション用のファイルを作成するのに必要な空き領域があることを確認してください。必要な空き領域は「実装しているメモリ容量 + 3Mバイト」です。十分な空き領域があるにもかかわらず、設定の際に「Error:Not enough contiguous free disk...」とエラーメッセージが表示されたときは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」を選び、最適化を行った後、再度設定をしてください。
 - ・CDドライブを圧縮、圧縮解除する場合、あらかじめ「ハイバネーション機能を使用しない設定にする」(→p.17)の手順に従い、ハイバネーション用のファイルを削除してから圧縮または圧縮解除を行い、その後次の設定を行ってください。

・この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「はい」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、キーボードから「HIBERON」と入力して【Enter】を押す
- 3 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押して本機を再起動するか、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度本機の電源を入れる

The system will now be reset to allow the BIOS to recognize the changes. If the system fails to reboot, please reset the system manually.

Press any key to reset the system..._

ハイバネーション機能を使用しない設定にする

「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除します。このユーティリティでは、ハードディスク内に作成されているハイバネーションのためのファイルを削除します。

✓ **チェック!!** 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行することはできません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「はい」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 MS-DOS モードで再起動したら、「HIBEROFF」と入力して【Enter】を押す

3 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押して本機を再起動するか、本機の電源を切って、5秒以上待ってから再度電源を入れる

The system will now be reset to allow the BIOS to recognize the changes. If the system fails to reboot, please reset the system manually.

Press any key to reset the system...._

省電力機能

本機では、ご購入時にあらかじめ液晶ディスプレイの省電力機能やスタンバイモード、サスペンドなどの機能が設定されています(バッテリ駆動時)。

スタンバイモードやサスペンド状態のときには、サスペンドランプが緑色に点灯します。電源ランプは、スタンバイモードのときには点灯、サスペンド状態のときには消灯しています。

ご購入時の状態では、これ以外にもハードディスクなどに関するさまざまな省電力機能が設定されています。詳しくは、「PART3 システムの設定」(→ p.71)をご覧ください。

また、本機で省電力機能の設定を行うには、次のような方法があります。

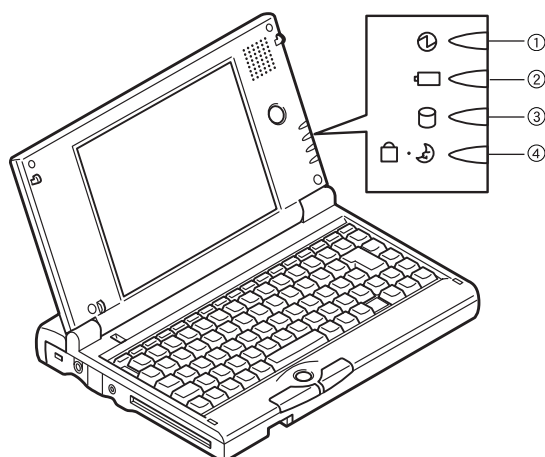
- ・ BIOSセッティングユーティリティで設定する

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOSセッティングユーティリティ」でBIOSセッティングユーティリティを起動し、「省電力」の項目を設定します。ここでの設定は、WindowsとMS-DOSモードの両方で有効です。

- ・ Windowsのコントロールパネルで設定する

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の、「画面」→「スクリーンセーバー」や、「パワーマネージメント」→「ディスクドライブ」でディスプレイやハードディスクの省電力機能を設定できます。ここでの設定は、Windowsでのみ有効です。

表示ランプ



①電源ランプ ①

- ・ 緑点灯 電源が入っている
- ・ オレンジ点灯 .. バッテリ容量が少ない
- ・ 消灯 電源が切れているかスリープ状態

②バッテリー充電ランプ

- ・ オレンジ点灯 .. バッテリ充電中
- ・ 消灯 バッテリ充電完了

③ハードディスクアクセスランプ

- ・ 黄点灯 アクセス中
- ・ 消灯 アクセスしていない

④キーボードロックランプ / サスペンドランプ

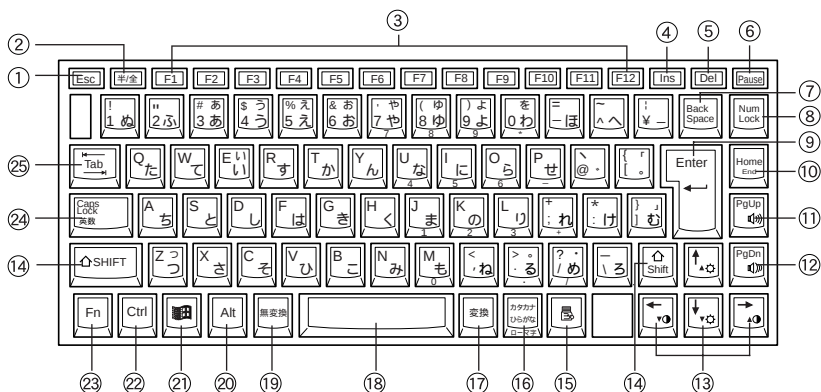
- ・ 黄点滅 キーボードがロックされているか、レジューム時のパスワードを要求している
- ・ 黄点灯 サスペンド状態またはスタンバイ状態
- ・ 消灯 キーボードがロックされていない
サスペンド状態ではない

キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

キーの使い方

キーの名称



- ① 【Esc】: エスケープキー
- ② 【半/全】: 半角/全角キー
- ③ 【F1】～【F12】: ファンクションキー
- ④ 【Ins】: インサートキー
- ⑤ 【Del】: デリートキー
- ⑥ 【Pause】: ポーズキー
- ⑦ 【Back Space】: バックスペースキー
- ⑧ 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- ⑨ 【Enter】: エンターキー(リターンキー)
- ⑩ 【Home】: ホームキー
- ⑪ 【PgUp】: ページアップキー
- ⑫ 【PgDn】: ページダウンキー
- ⑬ 【↑】【↓】【→】【←】: カーソル移動キー
- ⑭ 【Shift】: シフトキー
- ⑮ 【】: アプリケーションキー
Windows 95使用時に使うことができます。
- ⑯ 【カタカナ ひらがな】: かなキー
- ⑰ 【変換】: 変換キー
- ⑱ スペースキー
- ⑲ 【無変換】: 無変換キー
- ⑳ 【Alt】: オルトキー
- ㉑ 【】: Windowsキー
Windows 95使用時に使うことができます。
- ㉒ 【Ctrl】: コントロールキー
- ㉓ 【Fn】: エフエヌキー
- ㉔ 【Caps Lock 英数】: キャップスロックキー
- ㉕ 【Tab】: タブキー

特殊なキーの使い方

キー操作	説明
【Num Lock】	一度押すとキー前面に青で表示されている数字や記号を入力できるようになります。もう一度押すとキー上面の文字が入力できるようになります。
【Shift】+【Caps Lock 英数】	一度押すとアルファベットを入力したときに大文字が入力されるようになります。もう一度押すとアルファベットを入力したときに小文字が入力されるようになります。
【Alt】+【半/全】	一度押すと日本語入力システムがオンになり、日本語が入力できるようになります。もう一度押すと日本語システムがオフになり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】 (MS-IME97使用時のみ)	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のアルファベットの組み合わせで日本語を入力できるようになります。
【Caps Lock 英数】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字が入力されるようになります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力されるモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します (→ p.22)

ホットキー機能【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色(ブルー)でキーの上部に印字されています。

ホットキー機能一覧

機 能	キー操作	説 明
サスペンド 	【Fn】+【Esc】	サスペンド状態にします。
ハイバネーション 	【Fn】+【F1】	ハイバネーションします。
ディスプレイ切り替え 	【Fn】+【F3】	別売の CRT ディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、「両方表示」→「外部モニター」→「内蔵液晶ディスプレイ」の順に切り替わります。
輝度の調節 	【Fn】+【↑】または【↓】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増減します。
液晶ディスプレイの コントラスト調整 	【Fn】+【←】または【→】	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。
ビープ音量切り替え 	【Fn】+【F5】	ビープ音を ON/OFF します(システムビープを除く)。
スピーカ音量調節 	【Fn】+【PgUp】 または【PgDn】	スピーカの音量を調節します。
節電レベル選択 	【Fn】+【F7】	パワーマネジメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します。 選んだ内容がタスクバーにアイコンで表示されます。
スクロールロック	【Fn】+【F12】	【Scr Lock】の役割
プリントスクリーン	【Fn】+【Ins】	【Prt Scr】の役割
システムリクエスト	【Fn】+【Del】	【Sys Req】の役割
右Alt	【Fn】+【Alt】	右【Alt】の役割
右Ctrl	【Fn】+【Ctrl】	右【Ctrl】の役割
右Windows	【Fn】+【  】	右【  】の役割
Break	【Fn】+【Pause】	【Break】の役割
End Key	【Fn】+【Home】	【End】の役割

STNカラー液晶ディスプレイ搭載モデルのみ

キーボードを設定する

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウインドウでは、ウインドウ左上の「速度」「言語」「情報」の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・文字入力時の繰り返し入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選び、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウインドウを表示させ、追加したい言語を選びます。

プロパティ

日本語入力システムを一覧から選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のウィンドウが表示されます。ローマ字 / かな入力、入力モード / 方式、句読点の種類などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択できます。

タスクバー上に状態を表示

「タスクバー上に状態を表示」をクリックして ☒ にすると、日本語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューがタスクバーに表示できます。

「情報」タブでの設定

キーボードの種類

現在使用しているキーボードの種類が表示されます。

別売のテンキーボードを使うには

別売のテンキーボードを接続して使用することができます。

テンキーボードはポートバー背面のテンキーボード用コネクタに接続します。

参照 別売のテンキーボードの接続 → 「その他の機器を使う」(p. 68)

日本語入力の使い方

日本語入力のオン、オフのしかた

オンのし方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする
これで日本語入力がオンになりました。

オフのし方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする
これで日本語入力がオフになりました。

本機には日本語入力システムとして、MS-IME97、ATOK11(model C1のみ)が組み込まれています。入力方法や操作方法については「ヘルプ」をご覧ください。

MS-IME97の「ヘルプ」を参照するには

- 1 MS-IME97のツールバーから「ヘルプ」ボタンをクリックする
- 2 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 3 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

ATOK11の「ヘルプ」を参照するには(model C1のみ)

- 1 ATOK11のツールバーから「操作パレット」ボタンをクリックする
- 2 操作パレットの中から「ヘルプ」ボタンをクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 4 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

NXポイント

本機には、マウスの代わりとなる入力装置として、NXポイントが組み込まれています。

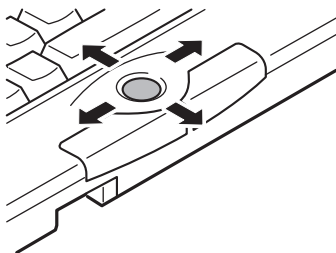
✓**チェック!!** NXポイントは操作性向上のためキャップに滑り止め加工がほどこされていますが、長期間のご使用により滑り止めの加工が摩耗します。キャップを交換したいときは、本機に添付の交換用キャップをお使いください。

参照 キャップの交換について→「本機のお手入れ」(p.150)

NXポイントの使い方

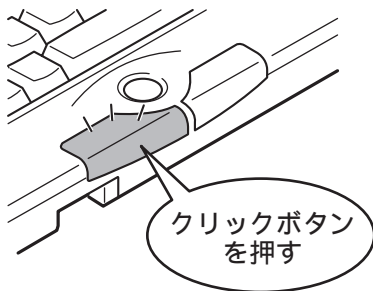
ポインタ(カーソル)の移動

NXポイントの上に指を置きポインタ(カーソル)を動かしたい方向に押さえつけます。



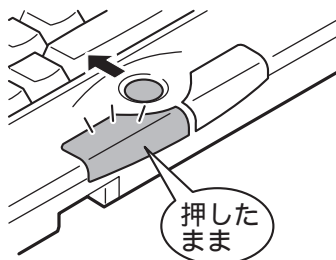
クリックとダブルクリック

左のクリックボタンを1回押すことを「クリック」、2回すばやく押すことを「ダブルクリック」と言います。また、右のクリックボタンを押すことを「右クリック」と言います。



ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左のクリックボタンを押したままNXポイントを動かしたい方向に押さえつけることを、ドラッグと言います。



- ✓ **チェック!!**・NXポイントから指を離しても、画面上のポインタが静止しないことがあります。故障ではありません。このような場合、ポインタが動かなくなるまで待ってから、NXポイントを使用してください。
- ・電源をONにしたとき、システムが起動するまでNXポイントを操作しないでください。システムが起動する前にNXポイントにさわると、NXポイントが動作しなくなる場合があります。このような場合は、約10秒間NXポイントを操作しないでお待ちください。正常に操作できるようになります。

NXポイントを設定する

WindowsでNXポイントをより使いやすく設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。

表示されたウインドウの左上の各タブを選択すると、いろいろな設定を行うことができます。詳しくは、「マウスのプロパティ」のヘルプをご覧ください。



内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤(ディスク)上に、Windows 95やアプリケーションなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気的に記録したり、読み出したりするための精密装置です。強い衝撃や過度の重量などが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

ハードディスクのメンテナンス

Windows 95には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

スキャンディスク

ハードディスクそのものやハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」で「スキャンディスク」をクリックする
「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。
- 2 「エラーチェックをするドライブ」の一覧から、チェックするドライブをクリックする
ここではハードディスクドライブ(ご購入時はCDドライブ)を選びます。
- 3 「開始」ボタンをクリックする
チェックが始まります。

チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。

デフラグ

ハードディスクは長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、データがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピードの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデータが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。

用語 デフラグ

「フラグメンテーション(断片化)を解消する」の意味の省略語。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストからデフラグするハードディスクを選ぶ



- 3 「OK」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。
- 4 最適化を行う場合は、「開始」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを完了します。

チェック!! デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、サスペンドやハイバネーションしたりしないでください。

画面表示機能

本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、液晶ディスプレイだけでなく、別売のCRTディスプレイやプロジェクタなどに画面を表示することもできます。

参照 別売のディスプレイやプロジェクタについて - 「外部ディスプレイを使う」(p.57)

表示できる解像度と表示色

用語 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示することができ、より細かな表現ができます。

用語 パーチャルスクリーン

パーチャルスクリーンとは、800×600ドットや1024×768ドットなどの高解像度でディスプレイの画面上に表示するための仮想画面のことです。パーチャルスクリーンでは画面全体のサイズが大きくなり、ディスプレイには常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画面をスクロールさせることにより、画面上で見えない部分を表示することができます。

パーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンは画面からはずれ、表示されないことがあります。画面上で見えない部分を見るには、マウスポインタを画面のヘリの部分へ移動させます。そうすると、移動させた方向にスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色が表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶 ディスプレイ のみに表示	別売の ディスプレイ のみに表示	本機の液晶 ディスプレイ と別売の ディスプレイの 同時表示 ¹
640×480ドット	26万色中256色	○	○	○
	65,536色	○	○	○
	1,677万色	○ ²	○	○ ²
800×600ドット	26万色中256色	○ ³	○	○ ³
	65,536色	○ ³	○	○ ³
1,024×768ドット	26万色中256色	○ ³	○	○ ³

○：表示可能

1：本機に別売のディスプレイが接続されていないときには、液晶ディスプレイのみに表示可能

2：ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により可能

3：本機の液晶ディスプレイでは、バーチャルスクリーン機能により表示可能

解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

本機の画面の設定を変更する

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする



3 解像度または表示色を変更する

チェック!! 640 × 480ドットから他の解像度に変える場合は、先にバーチャルスクリーンモードの設定 (→ p.33) が必要です。

解像度の変更:

「デスクトップ領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

表示色の変更:

「カラーパレット」で▼をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応しているカラーパレットが一覧表示されます。

High Color(16ビット)とは65,536色のことで、True Color(24ビット)は1,677万色のことです。

- 4** 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする
このあとは、画面の指示に従って操作してください。

バーチャルスクリーンモードの設定方法

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタンをクリックする
- 3** 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- 4** 「デバイスの選択」ウィンドウが表示されたら「すべてのデバイスの表示」をクリックし、「製造元」の一覧から「スタンダードモニター」を、「モデル」の一覧から「ラップトップディスプレイパネル（800 × 600または1024 × 768）」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 5** 「閉じる」ボタンをクリックする
- 6** メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックする
- 7** さらにメッセージが表示されるので「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ったら「デスクトップ領域」でつまみを「800 × 600ピクセル」または「1024 × 768ピクセル」にドラッグする
- 9** 「OK」ボタンをクリックする
このあとは画面の指示にしたがって操作してください。上記の設定をした後は、「ディスプレイの詳細」タブで下記の解像度が設定可能になります。
 - ・ 640 × 480ドット
 - ・ 800 × 600ドット
 - ・ 1024 × 768ドット



セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するため、次のようなセキュリティ機能が搭載されています。

- ・パスワード機能
- ・キーボードロック
- ・I/Oロック

 **チェック!!** セキュリティ機能を使用している場合でも、万一の場合に備えて、重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。

- ・ユーザーパスワード
日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。
- ・スーパーバイザーパスワード
システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。
- ・キーボードロック
- ・I/Oロック

パスワード機能の使用例

パスワード機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、はじめに管理者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定しておき、ユーザーパスワードのみを各利用者に通知します。この機能を使うと、管理者以外はBIOSセットアップユーティリティの一部の項目の設定を変更することができなくなります。

使用者が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定も自由に行いたい場合、使用者がスーパーバイザーパスワードを設定します。この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップユーティリティの設定変更ができなくなります。

- ✓ **チェック!!** 設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセタアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「パスワード確認タイミング」が「システム・セタアップ起動時」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

- 1 本機の電源を入れるとパスワードを入力する画面が表示される

Enter Password [■■■■]

- 2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

- 3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

誤ったパスワードが入力されると「Invalid Password」と表示されるので、【Enter】を押してからパスワードを入力しなおしてください。

パスワードの入力に3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。この場合は、電源スイッチを約4秒以上押して電源を切ったあと、再度手順1からやりなおしてください。

パスワードを設定しているときのレジューム

BIOSセタアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「レジューム時パスワード確認」が「確認する」に設定されている場合は、次の手順でレジュームすることができます。

- 1 電源スイッチを押す

キーボードロックランプが点滅します。

- 2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

- 3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、レジュームされます。

✓チェック!! ・誤ったパスワードが入力されると、レジュームされません。

- ・ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、前回電源を入れたときに入力したパスワードでないと、レジュームできません。
- ・パスワードの入力中にキーボードの【Back Space】などで文字を修正することはできません。誤って入力した場合は一度【Enter】を押し、手順1からやりなおしてください。

キーボードロック

【Fn】+【Back Space】により、キーボードおよびNXポイントがロックされ、ユーザー以外の人 が本機を操作できないようにします。

ロックを解除するためにはスーパーバイザーパスワード、またはユーザーパスワードを入力し、【Enter】を押します。

スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを設定し、BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「起動時パスワード確認」を「確認する」に設定した場合のみこの機能を使うことができます。

キーボードロック中はキーボードロックランプが点滅します。

✓チェック!! ・ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、電源を入れたときに入力したパスワードでないと、ロックを解除できません。

- ・パスワードの入力中にキーボードの【Back Space】などで文字を修正することはできません。誤って入力した場合は一度【Enter】を押し、はじめから入力しなおしてください。

I/Oロック

シリアルポート、赤外線ポートやパラレルポートなどを使用できないように設定できます。この機能により、プログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。I/Oロックは、BIOSセットアップユーティリティで設定します。

参照  I/Oロックを設定する→「セキュリティの設定」の「I/Oロック」(p.75)

パソコン間でのデータの通信 / 同期

標準インストールされているIntelliSync97を使うと、赤外線や添付のシリアルケーブル(リバース)による接続で、パソコン間のデータ交換ができます。

相手装置へのインストール

IntelliSync97による通信を行う場合は、通信相手側のパソコンにもIntelliSync97に対応した通信ソフトがインストールされていることが必要です。本機に添付されているIntelliSync97を通信相手側のパソコンで使う場合は、次の手順に従って相手のパソコンへIntelliSync97をインストールしてください。

- ✓ **チェック!**
- ・お客様がお使いの1台のパソコンへはインストールできますが、2台以上または第三者のパソコンへインストールしたIntelliSync97は、通信終了後ば「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」ですぐに削除してください。削除しないとソフトウェア使用許諾契約の違反になります。
 - ・通信相手側のパソコンの使用環境によっては、IntelliSync97が正常に動作しない場合があります。IntelliSync97のヘルプをご覧ください、必要な動作環境を確認してください。
 - ・本機にインストールされているIntelliSync97を、PC-9800シリーズのパソコンにインストールすることはできません。IntelliSync97をPC-9800シリーズのパソコンでお使いになる場合は、Puma社のユーザ登録を行い、1998年4月以降に実施予定のアップグレードサービスを受けてください。
 - ・この操作には別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-UU01)が必要です。

- 1** 1.44M バイトでフォーマットしたフロッピーディスクを6枚用意する
- 2** 本機に別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-UU01)を接続する
- 3** 本機のプログラムメニューの中から「IntelliSync97 for Windows」の「メイクディスク」をクリックし、画面の指示に従ってバックアップ用のフロッピーディスクを作成する

- 4 手順3で作成したIntelliSync97のバックアップディスクの1枚目を、相手側のパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする
- 5 相手側のパソコンのスタートメニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択する
- 6 「<フロッピーディスクドライブ名>:\SETUP」と入力し、「OK」ボタンをクリックするか【Enter】を押す

以降は画面の指示に従って操作してください。

接続の準備

赤外線 (IR) の接続設定

本機の赤外線通信ポートを使う場合でBIOSセットアップユーティリティの設定が変更されている場合は、次の手順で設定を行ってください。

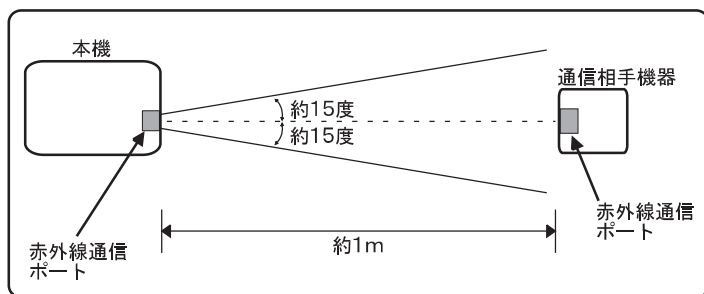
- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する(→p.73)
- 2 「デバイスの設定」の「赤外線ポート」で、「設定方法」を「自動設定」または「手動設定」にする
自動設定を選ぶと自動的に設定が行われますが、手動設定を選んだときは、BIOSセットアップユーティリティでCOM番号を設定する必要があります。
- 3 BIOSセットアップユーティリティを終了し、システムを再起動する

別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

- 1 シリアルコネクタに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 「赤外線デバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
- 6 現在の設定が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ
一覧にデバイス名がない場合は「Generic」を選んでください。
- 8 ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ポートが一つの場合、表示されません。
- 9 ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ボーレートが一つの場合、表示されません。
- 10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11 「IRセットアップウィザード」画面が表示されるので「OK」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う機器は次の範囲内で配置してください。



- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にする

機器を配置するときの注意

- ・ 赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・ 通信相手機器と本機との間に赤外光をさえぎるような物を置かない
- ・ 互いの機器どうしを接触させない

 **チェック!!** 通信相手の赤外光が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内)ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面で向き合わせて、近くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

こんなときは通信可能距離が短くなってしまうことがあります。

- ・ 直射日光や蛍光灯の直下
- ・ 機器どうしが正しく向き合っていない
- ・ 他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある
- ・ 本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えているとき

こんなときはうまく通信できないことがあります。

- ・ 異なる機器と接続した場合(相手の機器の性能に依存するため)
- ・ 通信相手機器がIrDA規格に準拠していない場合

シリアルケーブル接続設定

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

1 添付のシリアルケーブル(リバース)をシリアルコネクタに接続する

2 IntelliSync97ランチャーを起動し、「接続設定マネージャ」をクリックし、「ローカルデバイス」をクリックする

 **参照** ランチャーの起動 →「IntelliSync97」(p.127)

3 シリアルケーブルの+をクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの + をクリックする
表示されたマークで確認する

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

操作方法

ファイル / PIMのシンク(データの通信 / 同期)

- 1 IntelliSync97ランチャーを起動し、「シンク」をクリックする
- 2 「新規ジョブの作成」アイコンをダブルクリックする
- 3 「次へ」ボタンをクリックする

4 ジョブを選ぶ

2台のパソコン間でシンクする場合

「リモートジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

1台のパソコン内で別々のドライブなどをシンクする場合

「ローカルジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

5 タイプを選択する

「フォルダ」や「ドライブ」をシンクさせる場合

「ファイルのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

PIM(パーソナルインフォメーションマネージャ)間でシンクさせる場合

「PIMのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

6 ウィンドウの指示で情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

7 ジョブ名をつけて、「次へ」ボタンをクリックする

「オートシンクの始動」を選ぶと、IntelliSync97のシンクを起動、またはIntelliSync97を起動し、パソコンどうしを接続するたびに自動的にジョブを実行します。

8 「完了」ボタンをクリックする

スタートアップにIntelliSync97のシンクを登録しておく、本機起動時またはパソコンどうしの接続時に自動的にデータの通信 / 同期 (オートシンク) が実行され、便利です。

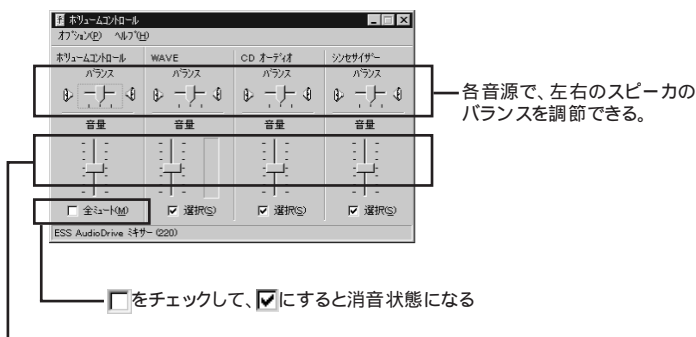
連続してオートシンクを実行するには、シンクのジョブが存在するパソコン側のシンクを一旦終了した後再度シンクを起動する必要があります。レジューム時にオートシンクが実行されない場合は、レジュームしたパソコン側のシンクを一旦終了した後、再度シンクを起動する必要があります。

また、赤外線接続ではレジューム時のオートシンクはできません。

サウンド機能

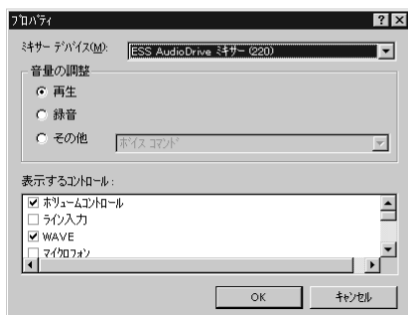
ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロール画面を表示するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリックします。



つまみを上下すると、音量調節ができる

メニューバーの「オプション」→「プロパティ」で「プロパティ」ウィンドウを開き、「再生」「録音」「その他」のどれかを選択すると、表示項目を切り替えることができます。



メニューバーの「オプション」→「トーン調整」を選択すると、「トーン」ボタンがボリュームコントロール画面に追加表示されるので、それをクリックするとトーン調整画面で調整が行えます。

周辺機器を使う

別売の周辺機器の接続方法や注意事項を説明しています。

このPARTの内容

周辺機器を利用する
プリンタを使う
フロッピーディスクを使う
外部ディスプレイを使う
PCカードを使う
メモリ(RAM)の増設
その他の機器を使う

周辺機器を利用する

プリンタや外部モニターなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機に周辺機器を接続するには、ポートバーを使用します。

用語 ポート

周辺機器や外部のコンピュータと本機との間で信号(データ)をやり取りするための「窓口」となるのがポートです。やり取りする信号(データ)を船荷に例え、それを積み降ろしする港(ポート)に例えてこの名前が付いています。

Windows 95のCOM1ポートは本機のシリアルコネクタ(ポート)に、LPT1はパラレルコネクタ(ポート)にあたります。

ポートバーの取り付け方

注意



感電注意

- ポートバーの取り付け / 取り外しをするときは、本機の電源を切るか、スリープ状態にしてください。電源が入ったままポートバーの取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。



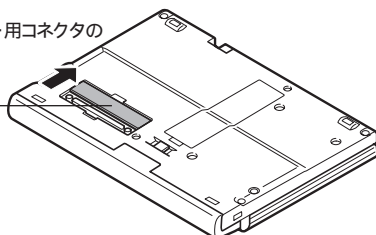
チェック!!

- ・ サスペンド状態やハイバネーション状態でもポートバーの着脱は可能ですが、ポートバーに接続されている周辺機器によってはシステムが正常に復帰しない場合があります。この場合は一度本機の電源を切ってから、再起動してください。
- ・ 本機のポートバー用コネクタには、添付のポートバー以外は取り付けないでください。
- ・ ポートバーを本機に取り付けているときは、ポートバーを持って本機を持ち運ばないでください。

1 本機の電源を切る

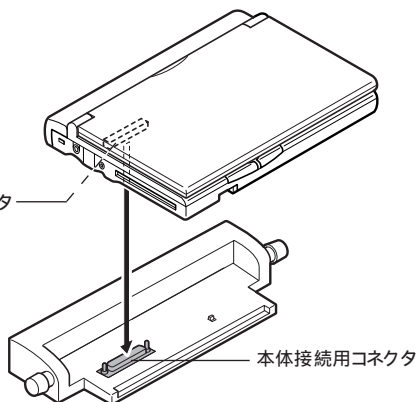
2 本機底面のポートバー用コネクタのカバーを図の矢印の方向にスライドして開ける

ポートバー用コネクタの
カバー

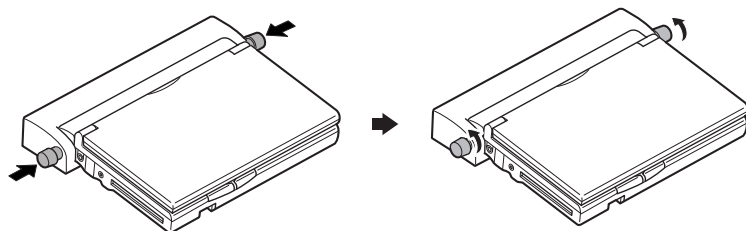


3 ポートバーの本体接続用コネクタと本機底面のポートバー用コネクタの位置を合わせ、奥までしっかり押し込む

ポートバー用コネクタ



4 ポートバーの左右のつまみを押し込みながら、図の矢印の方向にとまるところまで回すとロックされる

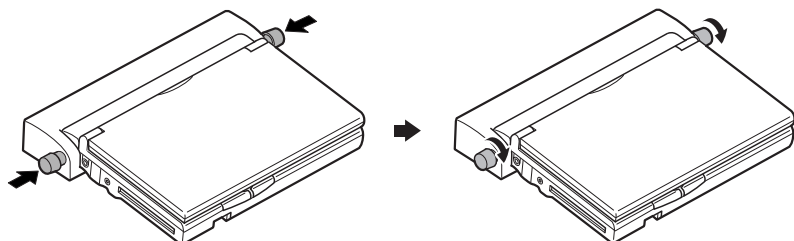


ポートバーの取り外し方

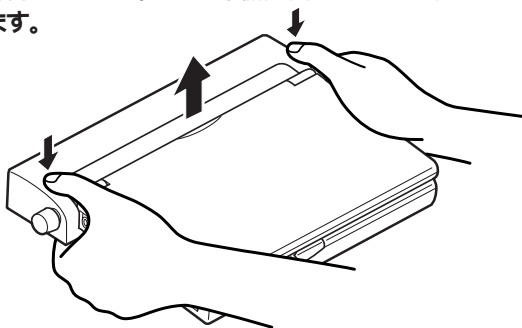
- ✓ **チェック!!** ・ サスペンド状態やハイバネーション状態でもポートバーの着脱は可能ですが、ポートバーに接続されている周辺機器によってはシステムが正常に復帰しない場合があります。この場合は一度本機の電源を切ってから、再起動してください。
- ・ ポートバーの取り外しは必ず机の上で行ってください。

1 本機の電源を切る

2 ポートバーの左右のつまみを押し込みながら、図の矢印の方向に回すと、ポートバーのロックが外れる



3 ポートバーを本機のポートバー用コネクタから取り外す 親指で上からポートバーを押さえつけながら、他の指を本機の下側に入れて、持ち上げるようにして本機底面のポートバー用コネクタから取り外します。



4 本機底面のポートバー用コネクタのカバーを閉める

周辺機器を利用するための知識

⚠警告



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

⚠注意



感電注意

- 周辺機器の取り付け / 取り外しをするときは、本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、周辺機器の取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け / 取り外し時の注意



チェック!!

- 別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元 / 発売元などに上記の事項を確認してください。
- 周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってください。
- 周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえご用意ください。

周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

このセットアップは次の2つの場合があります。

- ・「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

・「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。



チェック!!

- ・ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。
- ・READMEファイルは、「メモ帳」や「ワードパッド」などのテキスト形式のファイルが開けるアプリケーションで簡単に見ることができます。

プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 95には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

電源を入れる / 切るときの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順番で電源を入れたり、切ったりするようにしてください。

電源を入れるとき

周辺機器の電源を入れる → 本機の電源を入れる

電源を切るとき

本機の電源を切る → 周辺機器の電源を切る

また、プリンタを接続しているときには次の順序で行ってください。

電源を入れるとき

プリンタ以外の周辺機器の電源を入れる → 本機の電源を入れる → プリンタの電源を入れる

電源を切るとき

プリンタの電源を切る → 本機の電源を切る → プリンタ以外の周辺機器の電源を切る

プリンタを使う

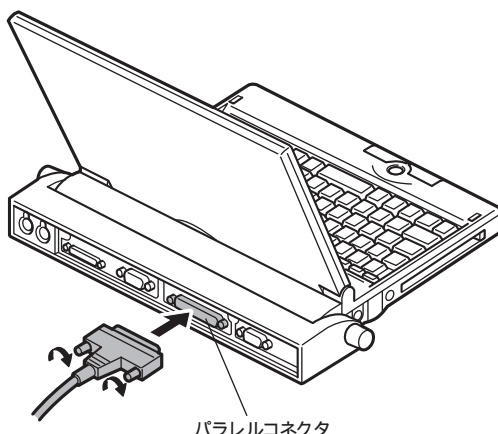
プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されます。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

✓チェック!! フロッピーディスクを使ってドライバをインストールする場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-UU01)が必要です。

プリンタの接続

プリンタとの接続には、25ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。

- 1 本機にポートバーを取り付ける(→p. 46)
- 2 ポートバーのパラレルコネクタにプリンタケーブルの小さい方のコネクタを向きに注意して差し込み、ネジを回して固定する



- 3 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに差し込む
接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。
- 4 プリンタの電源ケーブルと、本機の電源コードをACコンセントに接続する

プリンタを設定する

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

1 プリンタが正しく接続されていることを確認する

2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックする
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。

3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする
「プリンタウィザード」ウィンドウが開きます。



4 「プリンタウィザード」ウィンドウの「次へ」ボタンをクリックする
「プリンタはどこに接続されていますか?」というメッセージが表示されます。

5 「ローカルプリンタ」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
「使用するプリンタの製造元」と「使用するプリンタの機種(または互換性のある機種)」のリストが表示されます。

6 表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ機種（または互換性のある機種）を選択する



プリンタにインストールディスクドライブディスクが添付されている場合は、「ディスク使用」ボタンをクリックして、インストールディスクのデータをインストールします。

✓**チェック!!** フロッピーディスクを使ってドライバをインストールする場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-UU01)が必要です。

7 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示されるので、LPT1を選ぶ



8 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける

この欄には手順6で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのままにしておきます。

このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックしてください。

9 「次へ」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示される

「はい(推奨)」を選択すると、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうかを確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙やトナーなどをセットしておいてください。



10 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする
もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

手順6でプリンタドライバをインストールしなかった場合やインストールが必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、プリンタのマニュアルをご覧ください。指定されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

1 「プリンタを設定する(→ p.52)の手順1～3を行う

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



4 ネットワークパス名を入力する

「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示されるので、そこから選ぶこともできます。

5 「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示に従ってプリンタの設定を行う

フロッピーディスクを使う

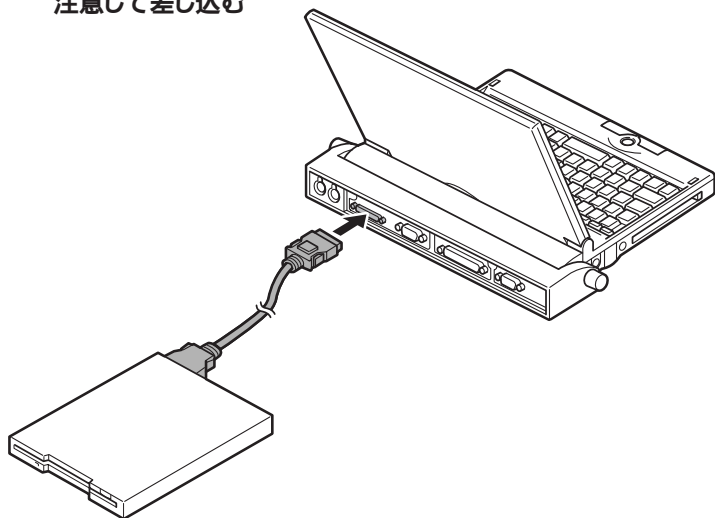
本機に別売のフロッピーディスクドライブを接続し、720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトの3種類のフロッピーディスクを使用できます。

✓**チェック!!** 1.2Mバイトのフロッピーディスクは読み書きできますが、フォーマット、ディスクコピーはできません。

外付けフロッピーディスクドライブを接続する

✓**チェック!!** 本機で利用できる外付けフロッピーディスクドライブはPC-VP-UU01のみです。

- 1 本機にポートバーを取り付ける(→p.46)
- 2 フロッピーディスクドライブに添付のケーブルをフロッピーディスクドライブに接続し、もう一方のコネクタを本機のポートバーの外付けフロッピーディスクドライブ用コネクタに、コネクタの向きに注意して差し込む



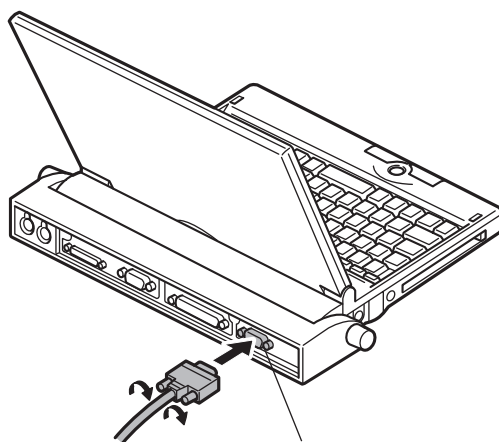
✓**チェック!!** フロッピーディスクを書き込み / 読み取り中は、フロッピーディスクアクセスランプが点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。

外部ディスプレイを使う

本機にCRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテーションなどが可能になります。

CRTディスプレイを接続する

- 1 本機にポートバーを取り付ける(→p.46)
- 2 ディスプレイ用ケーブルをポートバーの外部CRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定する



- 3 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む
詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 4 CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続する

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

表示解像度 (ドット)	水平走査 周波数(KHz)	垂直走査 周波数(Hz)	表示色		
			256色	65,536色	1,677万色
640 × 480	31.5	60	○	○	○
	37.5	75	○	○	○
	43.3	85	○	○	○
800 × 600	37.9	60	○	○	-
	46.9	75	○	○	-
	53.7	85	○	○	-
1,024 × 768	48.4	60	○	-	-
	56.0	70	○	-	-
	60.0	75	○	-	-

○ : 表示可能

- : 表示不可能

プロジェクトを接続する

液晶プロジェクトと解像度について

別売の液晶プロジェクトを使用する場合は、接続する前に次の表を参考にして表示解像度などを確認してください。

表示解像度 (ドット)	走査周波数		プロジェクトモデル	
	水平(KHz)	垂直(Hz)	ViewLight S800	ViewLight V600
640 × 480	31.5	60	○	○
800 × 600	37.9	60	○	○ *
	46.9	75	○	-
1,024 × 768	60.0	75	○ *	-

○ : 表示可能。ただし、ユーザー調整が必要。

- : 表示不可能

* : 簡易表示です。なお、表示画素数はViewLight S800は800 × 600ドット、ViewLight V600は640 × 480ドットです。それぞれの画素数と異なる解像度を表示するときは、文字や罫線の大きさなどが不均一になったり、一部欠ける場合があります。

接続について詳しくは、プロジェクトのマニュアルをご覧ください。

外部ディスプレイの設定

表示ディスプレイの切り替え

本機のホットキー機能を使うと、キー操作で簡単に画面の出力先の切り替えを行うことができます。

参照▶ ホットキー機能について → 「キーボード」(p.20)

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が開きます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタンをクリックする
- 3 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- 4 「すべてのデバイスを表示」がある場合はクリックする
- 5 表示した「デバイスの選択」ウィンドウで「製造元」と「モデル」を選択する
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で「スタンダードモニター」、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選んでください。
- 6 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 再び「OK」ボタンをクリックする
- 8 画面のメッセージに従って、Windowsを再起動する
これでディスプレイの設定が完了しました。

PCカードを使う

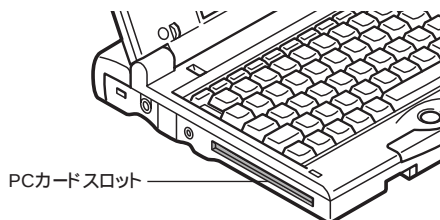
本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続することができます。

用語 PCカード

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会(JEIDA)とPCMCIAとの間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはさまざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモ리카ードやモデムカード、SCSI(スカジー)インターフェイス対応機器をつなげるためのSCSIカードなどがあり、ハードディスクとして使われるカードもあります。

PCカードスロットについて

TYPE IかTYPE II(5V)のPCカードを1枚使用できます。



 **チェック!!** 本機では、TYPE IIIのPCカードおよびZVポート対応とCardBus対応のPCカードは使えません。

PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりなどしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。
- ・本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

PCカードのセットのし方と取り出し方

△注意



高温注意

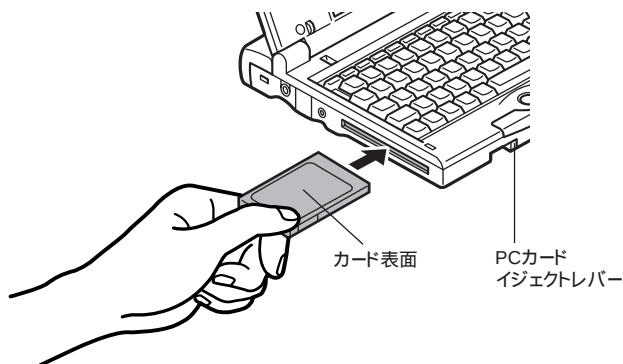
- 本機の使用途中や使用直後はPCカードおよびPCカードスロットの周囲が熱くなっていますので、ご注意ください。



- チェック!!**
- ・ PCカードには表と裏があり、スロットへの差し込む方向も決まっています。まちがった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
 - ・ 本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
 - ・ アプリケーション使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

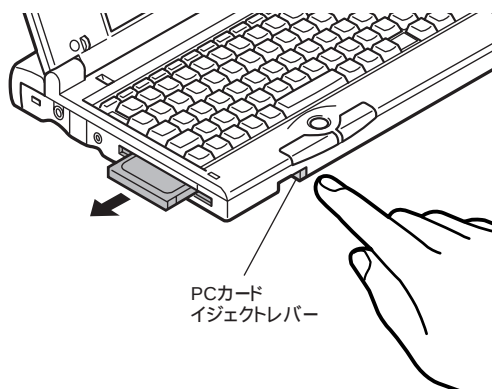
PCカードのセットの仕方

- 1** PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に静かに差し込む
PCカードが完全に差し込まれると、PCカードイジェクトレバーが左へ移動します。



PCカードの取り出し方

- 1** PCカードイジェクトレバーを右へスライドさせる
PCカードが少し飛び出すので、静かに引き抜きます。



PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのp.157をご覧ください。割り込みが重なって、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを取り付けることで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

型名	メモリ容量
PK-UG-M009	16Mバイト
PK-UG-M010	32Mバイト
PK-UG-M011	64Mバイト

model C1/model D1 の増設RAMボード用スロットには、あらかじめ16MバイトのRAMボードが実装済です。増設の際には実装済のRAMボードを取り外し、容量の大きい増設RAMボードを新たに取り付ける必要があります。

増設RAMボードの取り付けと取り外し

△注意



感電注意

- 増設RAMボードの取り付け / 取り外しをするときは、電源コードとバッテリーバックを取り外してください。電源コードやバッテリーバックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け / 取り外しをすると、感電、発煙の原因となります。

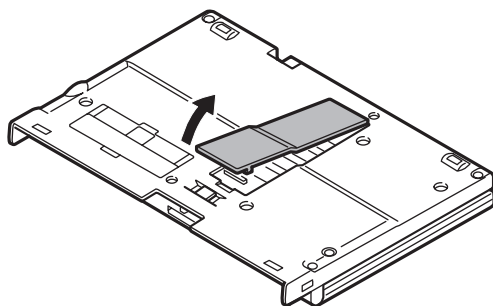


✓チェック!!

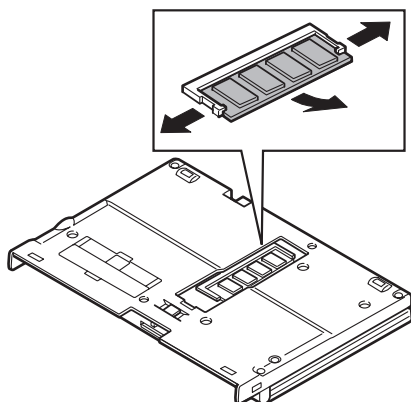
- 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
- 増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。

増設RAMボードの取り付け方

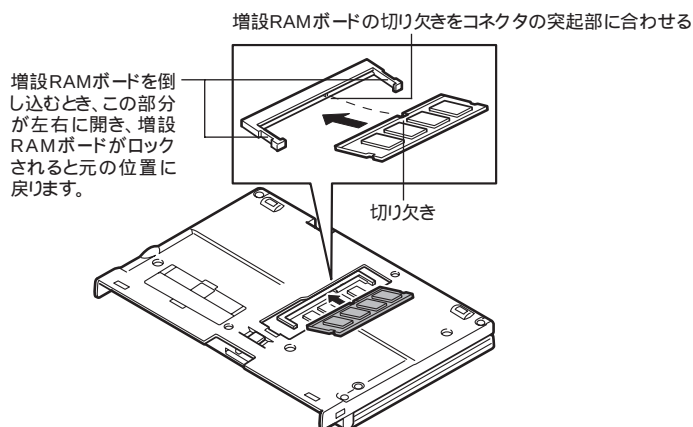
- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、一度元の状態に戻してから、本機の電源を切ります。
- 2** 本機からACアダプタやケーブル類、ポートバーをすべて取り外す
- 3** バッテリーパックを取り外す(→p.4)
- 4** 本機底面にある増設RAMボード用スロットのカバーを取り外す
爪でカバーを持ち上げて取り外します。



- 5** コネクタの両端を左右に押し広げながら、取り付けられているRAMボードを引き起こして取り外す
この操作はmodel C1/model D1のみに必要です。



- 6** 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する



- 7** カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに強く倒し込む

- 8** 手順4で取り外したカバーを取り付ける

9 バッテリパックを取り付ける (→ p.4)

 **チェック!!** 増設RAMボードの取り付けや取り外しを行ったときは、ハイパネーション機能の再設定が必要となります。「ハイパネーション機能」(→ p.13)をご覧ください。

メモリ増設後は、下記の「増設したメモリ(RAM)の確認」に従って、増設が正常に行われたかどうか確認してください。

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 表示された「システムのプロパティ」の「情報」タブで確認する

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・本機で利用できる増設RAMボードを取り付けているか

増設RAMボードの取り外し方

増設RAMボードを取り外すときには、「増設RAMボードの取り付け方」の1～5の手順で取り外してください。

 **チェック!!** 増設RAMボードの取り外しを行ったときは、ハイパネーション機能の再設定が必要となります。「ハイパネーション機能」(→ p.13)をご覧ください。



その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン
入力装置	マウス、テンキーボード、デジタルカメラ、イメージスキャナなど
通信機器	外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェイスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まっている訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

シリアルコネクタ

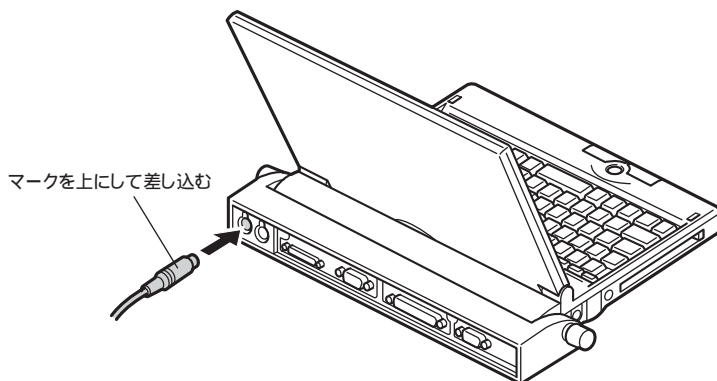
シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称で呼ばれています。

パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。パラレルポート対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

テンキーボード用コネクタ

別売のテンキーボードを取り付けるためのコネクタです。

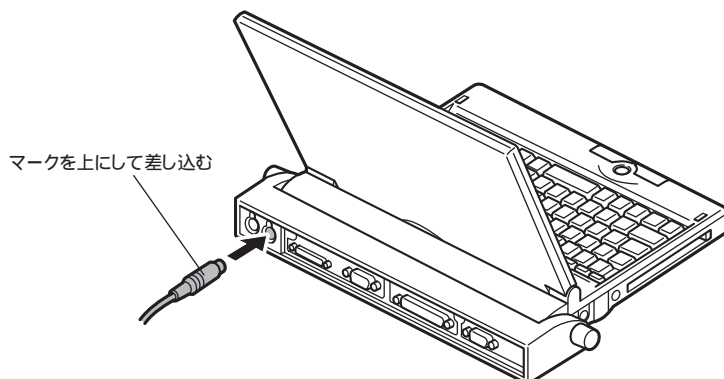


マウス用コネクタ

別売のマウスを接続するためのコネクタです。

- ✓チェック!!** ・マウスを接続するときは、必ず本機の電源を切るかスリープ状態で接続してください。
- ・BIOSセットアップユーティリティの「ポインティングデバイス」の「NXポイント」が「使用しない」になっているときは、スリープ状態でマウスを取り付け / 取り外ししないでください。

マウスの設定は、NXポイントと同じように、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「マウス」で設定することができます。



P A R T

3

システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境を設定できるBIOSセットアップユーティリティの使い方について説明しています。

このPARTの内容

BIOSセットアップユーティリティ



BIOS セットアップユーティリティ

BIOS セットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力、周辺機器など、本機の使用環境を設定することができます。

BIOS セットアップユーティリティで設定できること

- ・ セキュリティ
パスワード、I/O ロックの設定
- ・ デバイス
通信、ポート、システムデバイスなどの設定
- ・ 省電力
パワーマネージメント、サスペンド、レジュームなどの設定

-  **チェック!!**
- ・ BIOS セットアップユーティリティの設定を初期化する場合は、本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押します。キーの説明が表示されたら【F9】を押して、「F9: 全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。
 - ・ BIOS セットアップユーティリティを使用中に「BIOS 設定情報が不正です」と表示された場合は、BIOS セットアップユーティリティを上記の手順で初期値にしてから、再度 BIOS セットアップユーティリティで設定を変更してください。
 - ・ BIOS セットアップユーティリティで変更した設定は、省電力および日付と時刻の設定を除いて、本機の再起動後に有効となります。
 - ・ スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードが設定されている場合、BIOS セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。

BIOSセットアップユーティリティを使う

BIOSセットアップユーティリティを起動する

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOSセットアップユーティリティ」を選ぶ
「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

BIOSセットアップユーティリティを操作する

- 1 「セットアップ」メニューをクリックし、設定したい項目をクリックする
ツールバーから設定したい項目のアイコンをクリックして設定画面を表示させることもできます。
- 2 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する
各項目の設定の詳しい説明は、設定項目一覧をご覧ください。
- 3 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする
- 4 更新するかどうかメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 設定したい項目をすべて設定したら、「ファイル」メニューをクリックして、「設定保存と再起動」または「アプリケーションの終了」をクリックする

 **チェック!!** BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、省電力および日付と時刻の設定を除いて、本機の再起動後から有効となります。

各設定項目に関する詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。

設定項目一覧

✓ **チェック!!** 以降のページの表中の選択肢のうち、 はご購入時の設定です。

セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」を選択するか、ツールバーの「セキュリティ」アイコンをクリックして設定画面を開きます。

✓ **チェック!!** スーパーバイザーパスワードが設定されているときに、ユーザーパスワードで起動すると、表中の()マークの付いている項目は、変更できなくなります。

パスワード

項目名	選択肢	備考
ユーザーパスワード	—	ユーザーパスワードを設定します。本機を日常的に使用する人のためのパスワードです。
スーパーバイザーパスワード()	—	スーパーバイザーパスワードを設定します。システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。
パスワード確認タイミング()	セットアップ起動時 / システム・セットアップ起動時	BIOSセットアップユーティリティ起動時にのみパスワードを入力するのか、電源を入れたときにも入力するのか、パスワードの確認を行うタイミングを設定します。
レジューム時パスワード確認()	確認する / 確認しない	レジューム時にパスワードを確認するかどうかを設定します。「パスワード確認タイミング」を「システム・セットアップ起動時」に設定しているときのみ設定できます。

・パスワードに使用できる文字

半角英字	a~z A~Z (a~zはA~Zと同じ)
半角数字	0~9
字数	7文字以内

✓ **チェック!!** 【Num Lock】を使ったキー前面の文字によるパスワード入力是不行わないでください。

・パスワードの設定方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「新しいパスワード」に設定したいパスワードを入力し、確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します（入力した文字は、*で表示されます）。

・パスワードの変更方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。

確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します。

・パスワードの取り消し方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」のボックスにカーソルを合わせてから【Enter】を押します。

 **チェック!!** スーパーバイザーパスワードを設定せずに、ユーザーパスワードのみを設定することはできません。

I/Oロック

項目名	選択肢	備考
FDDインターフェース(☆)	ロックする / ロックしない	FDDインターフェースのI/Oをロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)(☆)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(A)のI/Oをロックするかどうかを設定します。
赤外線ポート(☆)	ロックする / ロックしない	赤外線ポートのI/Oをロックするかどうかを設定します。
パラレルポート(☆)	ロックする / ロックしない	パラレルポートのI/Oをロックするかどうかを設定します。
サウンド機能(☆)	ロックする / ロックしない	サウンド機能のI/Oをロックするかどうかを設定します。

デバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」を選択するか、ツールバーの各デバイスのアイコンをクリックして設定画面を開きます。

シリアルポート(A)

項目名	選択肢	備考
設定方法(☆)	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ以降の詳細設定が必要です。
I/Oアドレス(☆)	2E8h / 3F8h / 2F8h / 3E8h	I/Oアドレスを設定します。
割り込みレベル(☆)	IRQ3 / IRQ4	割り込みレベルを設定します。

赤外線ポート

項目名	選択肢	備考
設定方法(☆)	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ以降の詳細設定が必要です。
モード(☆)	IrDA / Fast IR	赤外線通信の規格に応じてモードを設定します。
Fast IRのDMAチャネルの設定(☆)	自動設定 / 手動設定	Fast IRをモードで指定した場合、DMAチャネルを設定します。「手動設定」を選択した場合のみ以降の詳細設定が必要です。
Fast IRのDMAチャネル(☆)	DMA#0 / DMA#1	Fast IRのDMAチャネルを設定します。

パラレルポート

項目名	選択肢	備考
設定方法(☆)	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ以降の詳細設定が必要です。
I/Oアドレス(☆)	378h / 278h / 3BCh	I/Oアドレスを設定します。
LPT番号(☆)	IRQ5 / IRQ7	割り込みレベルを設定します。
モード(☆)	ECP / EPP / 双方向 / 出力のみ	出力モードを指定します。

サウンド

項目名	選択肢	備考
設定方法(☆)	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ以降の設定が必要です。
I/Oアドレス(☆)	220h / 240h / 260h / 280h	I/Oアドレスを設定します。
割り込みレベル(☆)	IRQ5 / IRQ7 / IRQ9 / IRQ10 / IRQ11	割り込みレベルを設定します。
DMAチャンネル(☆)	DMA#0 / DMA#1 / DMA#3	DMAチャンネルを設定します。
フルデュプレクスDMAチャンネル(☆)	DMA#0 / DMA#1 / DMA#3	フルデュプレクスモードで使用するDMAチャンネルを設定します。

キーボード

項目名	選択肢	備考
起動時のNum Lock(☆)	使用しない / 使用する	起動時にNum Lockするかどうかを設定します。

ポインティングデバイス

項目名	選択肢	備考
NXポイント	使用しない / 使用する	内蔵のNXポイントを使用するかどうかを設定します。

システムデバイス

項目名	選択肢	備考
日付設定	—	日付を設定します。
時間設定	—	時間を設定します。

省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」→「省電力」を選択するか、ツールバーの「省電力」アイコンをクリックして設定画面を開きます。

パワーマネジメント

項目名	選択肢	備考
パワーマネジメント	使用しない / 使用する	省電力(パワーマネジメント)機能を使用するかしないかを設定します。「使用する」を選択したときのみ以降の設定が可能になります。
設定方法	動作時間優先 / 動作性能優先 / ユーザー設定	パワーマネジメントのタイプを選択します。「ユーザー設定」を選択した場合のみ、以降の項目を設定します。「動作時間優先」にすると、消費電力をおさえた設定になり、「動作性能優先」にすると電力消費より性能を優先した設定に、自動的に設定されます。
スタンバイモード制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → スタンバイモード開始時間: 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると自動的にスタンバイモードになります。
自動スリープ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → 自動スリープ開始時間: 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態で設定した時間が経過すると自動的にスリープします。
HDD モータ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → HDD モータ制御開始時間: 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。ハードディスクにアクセスしない状態で設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。
画面制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → 画面制御開始時間: 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。キーボードやポイントングデバイスからの入力がない状態で設定した時間が経過すると、画面表示を停止します。
オーディオ制御	使用しない / 使用する	「使用する」を選択した場合、オーディオの入出力がない状態があると、数秒後にオーディオ制御を開始します。

CPUアイドル制御	使用しない / 使用する	CPUアイドル制御を使用するかどうかを設定します。
CPUスピード	100% / 50% / 30% / 15%	CPUスピードの設定を行います。
バックライト制御	最大光量 / 高光量 / 通常光量 / 最小光量	バックライトの明るさを設定します。

設定により、タスクバーのアイコンが次のように変わります。

ユーザー設定: 

動作時間優先: 

動作性能優先: 

フルパワー(パワーマネージメントを使用しない): 

【Fn】+【F7】→p.22)による設定変更は、電源が切れるまで有効です。一時的な変更のためBIOSセットアップユーティリティの設定値には影響されません。

パワーセーブ

項目名	選択肢	選択肢
AC電源時のパワーマネージメント	使用しない / 使用する	AC電源時にパワーマネージメントを有効にするか無効にするかを設定します。

スリープ

項目名	選択肢	選択肢
モード設定	サスペンド / ハイバネーション	サスペンドするか、ハイバネーションするかを選択します。
電源スイッチの設定	パワーオフ / スリープ	電源スイッチの機能をパワーオフにするかスリープにするかを設定します。
スリープ時の警告音	使用しない / 使用する	スリープ時に警告音を鳴らすかどうかを設定します。

レジューム

項目名	選択肢	備考
時刻指定でレジューム / レジューム時刻	使用しない / 使用する →「レジューム時刻」	指定した時刻にレジュームするかどうかを設定します。使用する場合はその時刻を入力します。
クレードルでレジューム	使用しない / 使用する	本機では設定しても無効です。また、MB12C/UVではこの項目は表示されません。

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介

アプリケーションの削除と追加

一太郎Office8(model C1のみ)

Word 97 & Excel 97 & Outlook 97
(model A1/model D1のみ)

インターネットエクスプローラ4.0

インターネットエクスプローラ

関連プログラム

Outlook Express(Mail & News)

Microsoft NetMeeting

BIGLOBE Walker

PC-VANナビゲータ

AOL

NIFTY MANAGER

VirusScan for Windows 95

駅すばあと全国版 for Windows 95
(model C1/model D1のみ)

IntelliSync97

Angel Line for Windows
(model C1/model D1のみ)

プレーヤ-NX

CyberTrio-NX

CyberWarner-NX

英語モードフォントを利用する

添付アプリケーションの紹介

添付されている主なアプリケーションと、このPARTの構成について説明します。

知っておきたい便利な機能とツール

機能	アプリケーション
● ワープロを使う HTMLを作成する	一太郎8、Word 97
● 表計算ソフトを使う	三四郎8、Excel 97
● メール、スケジュール、文書などを管理する	FullBand、Outlook 97
● インターネットを利用する 電子メールを送受信する	インターネットエクスプローラ Outlook Express BIGLOBE Walker(BIGLOBE専用) PC-VANナビゲータ(PC-VAN専用) AOL(AOL専用) NIFTY MANAGER(NIFTY専用)
● インターネットの情報を管理する	BIGLOBE Walker
● BIGLOBEへオンラインで入会する	BIGLOBE Walker
● AOLへオンラインで入会する	AOL
● NIFTYへオンラインで入会する	NIFTY MANAGER
● 駅間の距離や金額などを確認する	駅すばあと全国版 for Windows 95
● オーディオ、ビデオなどを再生する	プレーヤ-NX
● 赤外線 / シリアルケーブル接続してファイルの転送やシンク同期を行う	IntelliSync97
● パソコンで電話番号検索サービスを利用する	Angel Line for Windows
● コンピュータウイルスを検出して除去する	VirusScan for Windows 95
● ユーザのレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する	CyberTrio-NX
● OSが必要とするファイルを保護する	CyberWarner-NX
● 海外製アプリケーションの文字表示を正しくする	英語モードフォント

このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✓ **チェック!!**
- ・ 削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
 - ・ 削除したアプリケーションを再度追加するためには、別売のCD-ROMドライブが必要になります。
 - ・ ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
 - ・ ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
 - ・ 一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
 - ・ アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→ p.85)を行ってから削除します。
 - ・ CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2 「セットアップと削除」を選択する

-  **チェック!!** ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにファイルやショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

アイコンとファイルの削除の準備

アプリケーションを削除した後、ファイル、スタートメニューに残ったアイコンを削除する場合は、削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2** 「表示」→「フォルダオプション」をクリックする
- 3** 「表示」タブの「詳細設定」の一覧にある「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4** 「OK」ボタンをクリックする
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合
- ・再追加するには、別売のCD-ROMドライブが必要です。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

プロダクトの選択

本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1 別売のCD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 「セットアップと削除」を選択する
- 4 「セットアップ」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動する
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:¥NSETUP.EXE

- 7 「完了」ボタンをクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

一太郎Office8(model C1のみ)

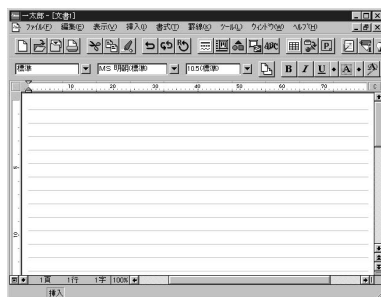
一太郎Office8には、「一太郎8」、「三四郎8」、「FullBand」が入っています。「一太郎8」はワープロ、「三四郎8」は表計算ソフトです。「FullBand」は、メール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

起動

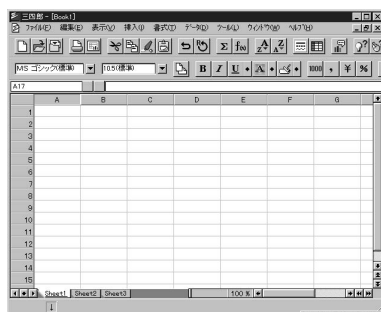
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎8」または「三四郎8」または「FullBand」をクリックする

初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎Office8のマニュアル、または『入門ガイド』をご覧ください。

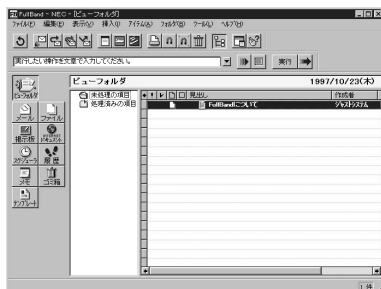
一太郎8



三四郎8



FullBand



削除

「一太郎8」が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。常駐解除の方法は添付の一太郎Office8のマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備（→p.84）の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「一太郎Office8のセットアップ開始」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「一太郎Office8の追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「一太郎Office8のファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「削除するファイルを選択します」が表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
削除するアプリケーションや機能を選んで削除することもできます。

- 7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)を削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」をクリックする
削除が始まります。
- 12 「一太郎Office8のセットアップ終了」が表示されたら「再起動」をクリックする

追加

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎Office8CD-ROM」をセットする
「Auto Play プログラム」が自動起動します。
- 2 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「SETUP Office8のセットアップ」をクリックする
- 3 「一太郎Office8のセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする

 **チェック!!** 「使用許諾契約の確認」が表示された場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。

- 4 「一太郎Office8のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用者名・法人名を登録します」が表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする

- 6** 「シリアルナンバー・UserIDを登録します」と表示されたら、入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
- 8** 「セットアップ方法を選択します」が表示されたら「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「標準モードでセットアップすると...」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする
インストールが始まります。
- 12** 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」で「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 13** 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする
- 14** 「一太郎Office8のセットアップ終了」と表示されたら「再起動」をクリックする

Word 97 & Excel 97 & Outlook 97

(model A1/model D1のみ)

「Word 97」はワープロ、「Excel 97」は表計算、「Outlook 97」はメール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

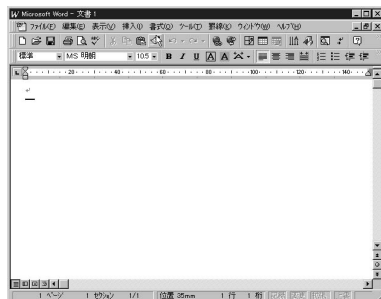
- model C1には「Word 97 & Excel 97 & Outlook 97」は添付されていません。
- model A1には、「Outlook 97」のみが添付されています。
- model D1には「Word 97 & Excel 97 & Outlook 97」が添付されています。

✓ **チェック!!** 「Word 97」、「Excel 97」、「Outlook 97」を削除するときは、別売のCD-ROMドライブが必要になります。

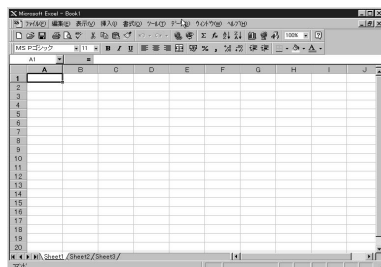
起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Word」または「Microsoft Excel」または「Microsoft Outlook」をクリックする

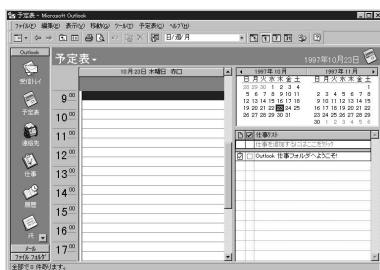
Word 97



Excel 97



Outlook 97



削除

✓チェック!! 削除の準備

「Word 97 」、「Excel 97 」、「Outlook 97 」を削除する場合は、CD-ROMドライブのドライブ番号が、「Word 97 」、「Excel 97 」、「Outlook 97 」を追加(インストール)したときと同じドライブ番号に設定されている必要があります。標準でインストールされている「Word 97 」、「Excel 97 」、「Outlook 97 」を削除する場合は、あらかじめCD-ROMドライブのドライブ番号がQドライブに設定されている必要があります。Qドライブに設定されていない場合は、次の手順でQドライブに設定してください。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 2 「CD-ROM」の前の $\oplus$ をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックする
- 3 「設定」タブをクリックする

- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ」の▼をクリックして表示された一覧の中から「Q:」を選ぶ



終了ドライブも自動的に変更されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面でも「OK」ボタンをクリックする
- 6 Windows 95の再起動を促す画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動する

ここではWord 97で説明しています。Excel 97とOutlook 97を削除するときには本文中の「Word 97」をそれぞれに置き換えてください。

チェック!! 再追加したWord 97、Excel 97、Outlook 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。

Word 97、Excel 97、Outlook 97の順に再追加したとき削除は、Outlook 97、Excel 97、Word 97の順に行います。

- 1 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Microsoft Word 97のセットアップ」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Word 97セットアップ」で「すべて削除」をクリックする

- 4** 「Microsoft Word 97を削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックする
削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5** 「Microsoft Word 97のセットアップが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
再起動のメッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックしてください。

アイコンの削除

デスクトップに「Microsoft Word」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1** 「Microsoft Word」アイコンを右クリックする
- 2** 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3** 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

追加

ここではWord 97で説明しています。Excel 97とOutlook 97を再追加するときは本文中の「Word 97」をそれぞれに置き換えてください。
model A1で「Outlook 97」を再追加するときは、「Microsoft Outlook 97」CD-ROMを使用してください。

- 1** CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97& Word 97& Outlook 97」CD-ROMをセットする
「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「Microsoft Word 97のセットアップ」ボタンをクリックする
- 3** 「Microsoft Word 97(Excel 97/Outlook 97)セットアップ」が表示されたら「継続」をクリックする

4 「ユーザー情報の登録」で必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックする

5 「ユーザー情報の確認」で「OK」ボタンをクリックする
model A1で「Outlook 97」をセットアップするときは、CDキーの入力画面が表示されます。CDキーを入力し「OK」ボタンをクリックします。

6 プロダクトID番号が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

7 「Microsoft Word 97を次のフォルダにセットアップします」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」のどちらかを選択する
ここでは「標準セットアップ」で進めます。

9 「標準セットアップ」が表示されたら「継続」をクリックする
インストールが始まります。
model A1で「Outlook 97」をセットアップするときは、「標準セットアップ」をクリックするとインストールが始まります。

10 「Microsoft Word 97セットアップが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** model A1で「Outlook 97」をセットアップすると、デスクトップに「Microsoft インターネットエクスプローラ 3.02のセットアップ」アイコンが表示されることがあります。その場合は以下の手順でアイコンを削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューの中から「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする

11 「Windows 95の再起動」が表示されたら再起動する

アイコンの追加

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

2 C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「Microsoft Word」アイコンを右クリックする

3 「コピー」をクリックする

4 デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」を左クリックする

デスクトップにWordのアイコンが表示されます。

「Microsoft® Office 97 新7桁郵便番号対応キット」について
(MB12C/UV model D1のみ)

本機の「アプリケーションCD-ROM」の「Office 97」フォルダには、「Microsoft® Office 97 新7桁郵便番号対応キット」が格納されています。

「Microsoft® Office 97 新7桁郵便番号対応キット」は、新7桁郵便番号制度(平成10年2月2日より実施)に対応するための新機能を、Office 97の主要製品であるExcel 97、Access 97、Word 97、MS-IME97に追加します。

詳しくは、「アプリケーションCD-ROM」の「Office 97」フォルダの「Readme」または「welcome」を開いてご覧ください。

なお、本機のMS-IME97は新7桁郵便番号制度に対応済みですので、MS-IME97に新機能を追加する必要はありません。

インターネットエクスプローラ4.0

インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリックする



この画面は1997年10月現在のものです。

削除

- 1 インターネットエクスプローラ4.0を削除する前に、ごみ箱に入っているファイルを削除してもよいか確認する
デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したいファイルがあれば別の場所へ移動してください。
- 2 「削除の準備」(→p.84)の手順1～2を行う
- 3 「セットアップと削除」の画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、「詳細」ボタンをクリックする

- 5** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0と次のコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、続けて次のすべてのコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックする（モデルによっては含まれないコンポーネントがあります）

Microsoft FrontPage Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.1（MB12C/UVの場合）

Microsoft NetMeeting 2.0（MB12C/UDの場合）

Microsoft VM for Java

Microsoft Web 発行ウィザード 1.51

Microsoft Outlook Express

VDOLive Player

- 6** 「Microsoft Internet Explorer 4.0セットアップメンテナンスプログラムを始めます」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには[OK]をクリックしてください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 7** 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

「Internet Explorer 4.0により、ごみ箱の形式が変更されました。」と表示されることがあります。現在、ごみ箱に入っているファイルを保存する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして削除処理を終了し、手順1からやり直してください。ごみ箱に入っているファイルをすべて削除してもよい場合は、「OK」ボタンをクリックして削除処理を続けます。削除が始まります。削除には数分かかります。

- 8** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 9 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、
「OK」ボタンをクリックする
自動的に本機が再起動します。
- 10 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力する
- 11 「ファイルの種類をActive Movieに関連付け、すべて再生できるようにしますか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 12 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」ボタンが「いいえ」ボタンをクリックする
 - Microsoft Internet Explorer 4.0
 - Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
 - インターネット接続ウィザード
 - Microsoft NetMeeting 2.1(MB12C/UVの場合)
 - Microsoft NetMeeting 2.0(MB12C/UDの場合)
 - Microsoft Outlook Express
 - VDOLive Player
 - Microsoft FrontPage Express

追加

Internet Explorer 4.0は、インターネットから最新版をダウンロードできます。ダウンロードするときは、インターネットエクスプローラを起動して、「お気に入りに」メニューの「Internet Explorer 4.0のダウンロード」をクリックしてください。

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」画面で、MB12C/UDの場合は「Microsoft Internet Explorer 4.0」、MB12C/UVの場合は「Internet Explorer 4.01」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書が表示されます。

4 よく読んでから、同意する場合は「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

5 「インストールオプション」で「完全インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

6 「デスクトップのアップデート」で「インストールしますか?」と表示されたら、「はい」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

7 「Active Channelの選択」で「日本」を選び、「次へ」ボタンをクリックする(MB12C/UVの場合、この手順は必要ありません)
「お気に入り」メニューの「Internet Explorer 4.0のダウンロード」から最新版がダウンロードできます。

8 「インストール先フォルダ」で、インストール先を指定する

購入時と同じフォルダにインストールする場合

次のフォルダが選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

C:¥Program Files¥Internet Explorer

(C:はWindows 95がインストールされているドライブ)

購入時とは別のフォルダにインストールする場合

すでに存在するフォルダにインストールするときは、「参照」ボタンをクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、インストールしたいフォルダを選択してから「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。新規にフォルダを作成する場合は、インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。入力したフォルダが存在しないため「フォルダを作成しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

 **チェック!!** 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示された場合は、「すべてのコンポーネントを再インストール」をチェックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。インストールには10数分かかります。

9 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ここでは、まだCD-ROMは取り出さないでください。

「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

10 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
自動的に本機が再起動します。

11 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力する

 **チェック!!** パスワードは入力しなくてもかまいません。

Internet Explorer 4.0関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間、数分かかります。

12 セットアップ完了後、CD-ROMを取り出す

最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer 4.0に最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

・Internet Explorer 4.0の「ヘルプ」→「製品更新」をクリックする

・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

2 「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」を選び、「OK」ボタンをクリックする

前ページの手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)は、次のとおりです。

「Microsoft Internet Explorer 4.0」

- Internet Explorer 4.0 Webブラウザ
- Windowsデスクトップのアップデート
- Microsoft VM for JAVA
- インターネット接続ウィザード

「通信コンポーネント」

- Microsoft NetMeeting
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Chat 2.0

「マルチメディア コンポーネント」

- Microsoft NetShow
- Microsoft インタラクティブミュージック コントロールとMSシンセサイザ
- Microsoft VRML2.0ビューア
- DirectShow
- VDOLive プレーヤー
- Microsoft Agent
- Macromedia Shockwave Director
- Macromedia Shockwave Flash
- RealPlayer by Progressive Networks

「オーサリング コンポーネント」

- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Web 発行ウィザード

「エクспローラ用追加コンポーネント」

- Microsoft Wallet
- 追加Webフォント
- Internet Explorerサウンドバック
- タスク スケジューラ

「多国語のサポート」

- 日本語サポート
- 韓国語サポート
- ヨーロッパ各国語サポート
- 繁体字中国語サポート
- 簡体字中国語サポート

インターネットエクスプローラ 関連プログラム

インターネットエクスプローラをより使いやすくするためのプログラムです。

インターネットエクスプローラ関連プログラムとして次の3つがあります。

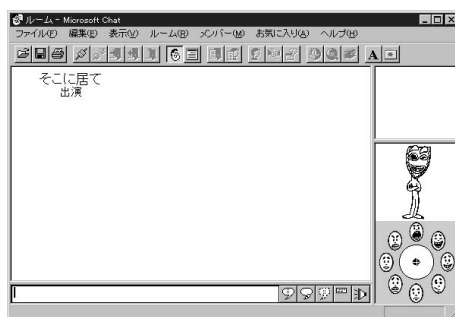
- Microsoft Chat 2.0
- Microsoft NetShow プレーヤー
- RealPlayer 4.0

Microsoft Chat 2.0

インターネット上で、従来のテキストでの会話に加えグラフィックスを組み合わせた会話ができるチャットプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft Chat」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備(→p.84)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Chat 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chatのアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft Chat 2.0は、インターネットエクスプローラ4.0の追加と同じ手順で追加することができます。

参照 インターネットエクスプローラ4.0の追加(→p.99)

Microsoft NetShow プレーヤー

NetShowに対応したWebサイトからインターネット経由で送られるマルチメディアデータを、すべてダウンロードされるのを待つことなく受信しながら再生できるプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「NetShow プレーヤー」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (→ p.84)」の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft NetShow プレーヤーは、インターネットエクスプローラ4.0の追加と同じ手順で追加することができます。

参照 インターネットエクスプローラ4.0の追加 (→ p.99)

RealPlayer 4.0

RealPlayerに対応したWebサイトからインターネット経由で送られる音声 / 映像データを受信し、再生するプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」の「RealPlayer」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (→ p.84) の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「RealPlayer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「RealPlayer 4.0の全てのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」または「Are you sure you want to completely remove RealPlayer and all of its components?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「RealPlayer 4.0のアンインストールが完了しました。」または「Uninstallation of the RealPlayer has been successfully completed.」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

RealPlayer 4.0は、インターネットエクスプローラ4.0の追加と同じ手順で追加することができます。

 インターネットエクスプローラ4.0の追加 (→ p.99)

Outlook Express (Mail&News)

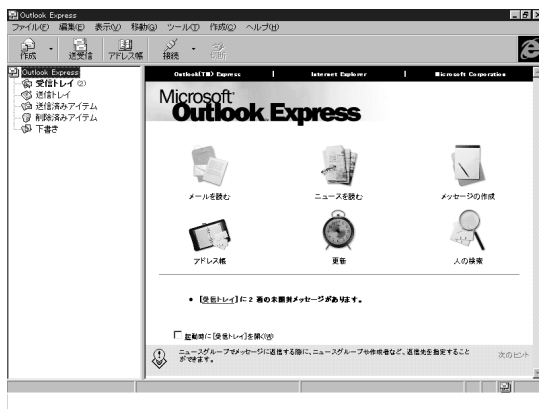
概要

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリックする
Outlook Expressのウィンドウが表示されます。

主画面



チェック!! Outlook Expressの削除と再追加については「インターネットエクスプローラ 4.0」の「削除」および「再追加」を参照してください。「インターネットエクスプローラ 4.0」の「削除」または「再追加」の手順を行うことにより、「Outlook Express」も削除または再追加されます。

Microsoft NetMeeting

概要

インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft NetMeeting」をクリックする
Microsoft NetMeetingのウィンドウが表示されます。

主画面



- ✓ **チェック!!** Microsoft NetMeetingの削除と再追加については「インターネットエクスプローラ4.0」の「削除」および「再追加」を参照してください。「インターネットエクスプローラ4.0」の「削除」または「再追加」の手順を行うことにより、「Microsoft NetMeeting」も削除または再追加されます。

4 添付アプリケーションの削除と追加

4 添付アプリケーションの削除と追加

-
- The screenshot shows a Windows XP desktop with a virtual machine named "BIOLOGIE-WALKER" running. The VM window displays the "colNotepad MailTree" application. The application has a menu bar with "File", "Edit", "Tools", "Window", and "Help". The "File" menu is open, showing options like "New", "Open", "Save", "Print", "Exit", and "Quit". The main window area displays a list of files and folders, including "BIOLOGIE-WALKER" and "BIOLOGIE-WALKER-1". The status bar at the bottom shows the time as 10:00:53 and the date as 10/12/2005.

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら
「OK」ボタンをクリックする

追加

1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE Walker」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」の表示で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

5 「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

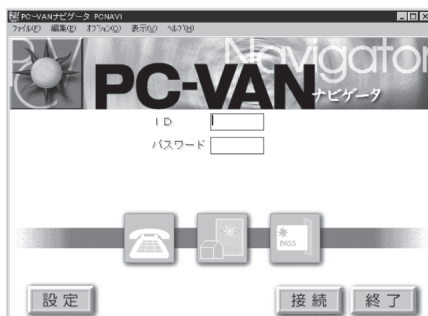
6 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

PC-VANナビゲータ

パソコン通信サービス「PC-VAN」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータ」をクリックする



削除

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータアンインストーラ」をクリックする
- 2 表示されたウィンドウで「プログラムだけ削除」または「すべて削除」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

✓**チェック!!** 「すべて削除」を選択すると、設定ファイルやアドレス帳なども削除されますので、ご注意ください。

- 3 「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

4 「ファイルを削除しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

「すべて削除」を選択した場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

アイコンの削除

「スタートボタン」→「プログラム」に「PC-VANナビゲータ」のアイコンが残ったときは、次のフォルダとファイルを削除してください。

C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「PC-VANナビゲータ」フォルダとフォルダ内のすべてのファイル

追加

- 1 「プロダクトの選択（→p.86）の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「PC-VANナビゲータ」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「PC-VANナビゲータインストール」で「インストール」をクリックする
- 5 表示されたウィンドウを確認して「OK」ボタンをクリックする
「ディレクトリの作成」が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「PC-VANナビゲータ登録」で「はい」ボタンをクリックする
- 7 「インストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

AOL

アメリカのパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」を利用するためのアプリケーションです。

AOLはパソコン通信だけでなく、インターネットも利用できます。

起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「AOL」の「AOLの世界へようこそ!」をクリックする

使用方法是本機に添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

✓チェック!! 登録後1カ月の間、最初の50時間はすべてのサービスを無料で利用できます。フリーアクセス時間(50時間)を超えたり、フリーアクセス期間(登録後1ヶ月)を超えると、課金が始まりますのでご注意ください。



削除

- 1 「削除の準備 (→ p.84) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOL」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「AOL for Windows アンインストーラー」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
AOL が複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外してください。
- 4 「アンインストールするAOLのディレクトリ」の表示で「OK」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5 「AOLの削除は正常に終了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 再起動をするよう、メッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックする

追加

 **チェック!!** モデム接続を行う場合は、先にモデムを使えるように準備してください。

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「AOL」をクリックし「OK」ボタンをクリックする
- 3 「AOL セットアッププログラムへようこそ」の表示で「開始」をクリックする
モデムが接続されていない場合、「モデムが見つかりませんでした。」のメッセージが表示されます。モデム接続を行わない場合は、「設定中止」をクリックして先に進んでください。

- 4 「インストール」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「AOLのショートカットを作成します」で「スタートメニュー最上段」
のチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「お疲れさまでした」の表示で、「OK」ボタンをクリックする

NIFTY MANAGER

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

参照 「NIFTY SERVE」への入会手続きについて→『ニフティ サーブ イントロパック』

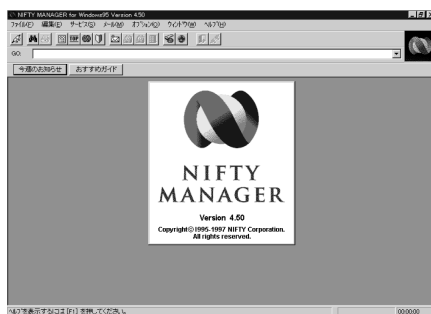
起動

「NIFTY SERVEサインアップ」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」の「NIFTY SERVEサインアップ」をクリックする

「NIFTY MANAGER」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (→p.84)」の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver4.50」をクリックして「追加と削除」をクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 4 「プログラムのコンピュータからの削除」でアンインストールの完了を確認して、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「NIFTY MANAGER for Windows 95」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 利用規約が表示されるので、よく読んでから、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「情報を引き継ぎますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 7 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」と表示されたら、デスクトップにショートカットを作成する場合「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
「NIFTY MANAGERデータベースへアクセスするための環境を設定中です。」と表示されます。

8 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする

READMEファイルはメモ帳で表示されます。READMEファイルを読み終わったあと、メモ帳を終了し、画面上のウィンドウを最小化して手順9のメッセージを表示させてください。

9 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

10 「HyperROADに接続するための、ダイヤルアップネットワークの設定を行いますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
インターネット接続に必要な通信設定は、添付の『ニフティサーブイントロバック』をご覧ください、セットアップ完了後に行ってください。

「セットアップを完了するには、システムを再起動する必要があります。再起動しますか?」と表示されることがあります。表示されたときは、「はい」ボタンをクリックし、再起動してしてください。

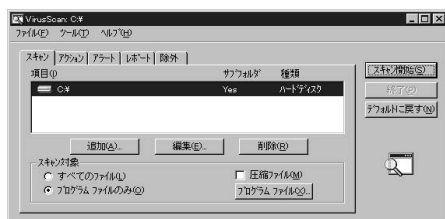
 **チェック!!** NIFTY MANAGERをインストールすると、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の一覧に「Data Access Objects (DAO) 3.5」が追加されますが、削除しないでください。DAOを削除すると、他のアプリケーションでヘルプを使用できなくなる場合があります。

VirusScan for Windows 95

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓ **チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」→「プロパティ」をクリックする
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする
VShield設定が起動します。

- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「今すぐに読み込みを行いますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

ウイルス監視機能を解除する

- 1 「ウイルス監視機能を有効にする (→p.119) の手順1～3を行う
VShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐに読み込みを解除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

削除

- 1 「削除の準備 (→p.84) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 (ブレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が前面に表示されたときは「OK」ボタンをクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了します。
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動し、「McAfeeソフトウェアの使用許諾契約書」ウインドウが表示されます。
- 3 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
「セットアップへようこそ」ウインドウが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウインドウの「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「DOSスキャナ インストール オプション選択」画面で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。
エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
なお、エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。
- 9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 11 「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 12 「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタンをクリックし、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

- 13** インストールが終了すると、「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
Windows 95が再起動します。
- 14** Windows 95再起動後、「ウイルス監視機能を解除する（→ p.120）の手順1～5行う
ウイルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

駅すばあと全国版 for Windows 95

(model C1/model D1のみ)

駅と駅間の距離、金額、最短時間、路線順などを見ることができます。

起動と使い方

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「駅すばあと全国版」の「駅すばあと」をクリックする
- 2 「出発地」と「目的地」を入力する
- 3 「探索」をクリックすると結果が表示される



削除

- 1 「削除の準備 (→p.84) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「駅すばあと」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

4 「アンインストールが完了しました...」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

アイコンの削除

デスクトップに「駅すばあと」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

1 アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューで「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

アンインストールが完全に終了しても「駅すばあと全国版」「グループど 駅すばあとオンラインマニュアル」のショートカットおよび「駅すばあとオンラインマニュアル」のファイルが残ります。これらのファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥Program Files¥ExpWin32」,「C:¥Windows¥スタート¥プログラム¥駅すばあと全国版」のフォルダを、フォルダ内のファイルとともに削除してください。なお、これらのファイルはアプリケーションの追加では再登録されませんので、削除する場合は十分に注意してください。

追加

1 「プロダクトの選択（→p.86）の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「駅すばあと」をクリックし「OK」ボタンをクリックする

3 「駅すばあとSetup」で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする MB12C/UVの場合は、この後手順7へ進んでください。

5 「個人名入力」で名前を入力し「次へ」ボタンをクリックする

6 「法人名入力」で法人名を入力し「次へ」ボタンをクリックする 法人名は入力しなくてもかまいません。必要に応じて入力してください。

7 「インストールを開始します、よろしいですか?」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

8 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

アイコンの追加

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

2 エクスプローラのウィンドウで、C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥駅すばあと 全国版にある「駅すばあと」のアイコンを右クリックする

3 表示されたメニューで「コピー」をクリックする

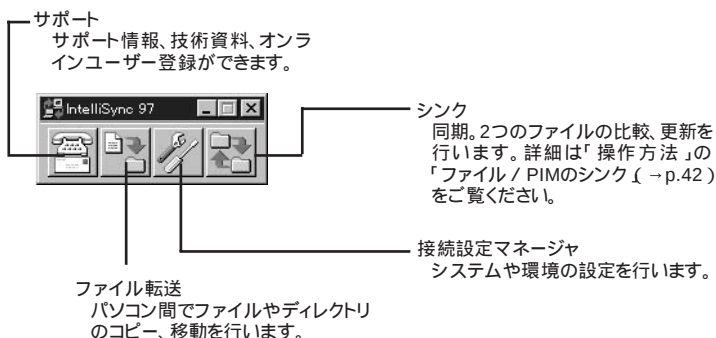
4 デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする
「駅すばあと」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

IntelliSync 97

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。詳しくは「操作方法」(→ p.42)をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「IntelliSync 97 for Windows」の「IntelliSync 97エージェント」をクリックする
- 2 「IntelliSync97 for Windowsへようこそ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
「IntelliSync97ランチャー」が表示されます。



削除

- 1 「削除の準備」(→ p.84)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし「追加と削除」をクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追 加

以下の操作を行う場合は、「パソコン間でのデータの通信 / 同期」の「接続の準備」(→ p.39)を行ってください。

- 1 「プロダクトの選択」(→ p.86)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「よろこぞ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「OEM ディスク」で「参照」ボタンをクリックし、パスに「<CD-ROMドライブ名>:\I97TMP\OEM_Diskette」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「スタートアップグループオプション」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップ」で「はい」ボタンをクリックする
- 9 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「NEC FIR port model 01」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

- 11** 「赤外線の設定-ポーレートを選択」で「4000000」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 13** 「IRセットアップウィザード」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

Angel Line for Windows

(model C1/model D1のみ)

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

このアプリケーションを使用する場合は、別売のモデムが必要です。

起 動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」の「Angel Line Ver2.03」をクリックする
はじめてAngel Line for Windowsを使う場合は、「設定」→「通信の設定」をクリックし、「回線種別」から使用する回線の種類を選択してください。



削除

チェック!! Angel Lineを削除するときは、別売のCD-ROMドライブを接続してください。

- 1 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2 「削除の準備」(→ p.84)の手順1～2を行う
- 3 「セットアップ」をクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動して「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「アプリケーションCD-ROM」がCD-ROMドライブにセットされていることを確認して、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアッププログラムの実行」画面の「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっているので、「<CD-ROMドライブ名>:¥UNINST.EXE」に変更して、「完了」ボタンをクリックする
- 6 「アンインストールは次の内容を消去します」と表示されるので、削除する場合は「続行」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 7 「削除」で「確認」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択（→p.86）の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Angel Line for Windows」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Angel Line for Windowsインストール」で「続行」をクリックする
- 4 「インストールディレクトリの設定」画面が表示されるので、確認してから「続行」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「インストール終了」で「確認」ボタンをクリックする
- 6 「システム設定」で「デフォルト」ボタンをクリックする

✓チェック!! 「システム設定」で「する」ボタンをクリックすると、「通信システム設定」画面が表示されます。ご利用の通信環境にあわせて設定してください。また、「通信システム設定」画面は、Angel Line for Windowsを起動し、「設定」→「通信の設定」をクリックしても表示できます。

- 7 「接続テスト」画面で「しない」ボタンをクリックする
- 8 「お疲れさまでした...」と表示されたら「確認」ボタンをクリックする
- 9 本機を再起動する

プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。本機でCDを再生するには、別売のCD-ROMドライブが必要です。

プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリックする

オーディオCDの場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



削除

- 1 「削除の準備 (→ p.84) の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

☑ **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックするインストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

CyberTrio-NX

ユーザのレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

CyberTrio-NXの機能

CyberTrio-NXは、Windows 95の利用環境を設定するアプリケーションです。ユーザのレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうようなユーザの操作を未然に防ぐことができます。次のモードから選ぶことができます。

・カスタムモード

「スタート」ボタン→「プログラム」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。

カスタムモードでは以下の点を制約しています。

- ・ スタートメニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・ マウスの右クリックは動作しません。

・ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り替えてお使いください。

コントロールパネルの以下の機能

- ・ ネットワーク
- ・ モデム
- ・ マルチメディア
- ・ サウンド
- ・ システムの「デバイスマネージャ」タブと「ハードウェア環境」タブ
- ・ プリンタで「プリンタの削除」

レジストリエディタやシステムエディタの使用

CyberWarner-NXを使用時および起動時は「警告あり」のモードでの起動となる（起動後は「警告なし」に変更可能）

・アドバンスモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

出荷時には、本機はアドバンスモードに設定されています。

モードの変更

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」でモードを選ぶ

カスタムモードにする場合

「Go toカスタムモード」をクリックする

ベーシックモードにする場合

「Go toベーシックモード」をクリックする

アドバンスモードにする場合

「Go toアドバンスモード」をクリックする

「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境(ディスプレイの背景やサウンドなど)の設定があります。

ここではカスタムモードで、パスワードを設定する方法について説明します。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がカスタムモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字以内の半角の英数字で設定可能です。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Cyber Trio-NX セットアップ」をクリックする

「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする

3 パスワードを入力する

パスワードは、8文字以内の半角の英数字で入力します。

4 パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、 「OK」ボタンをクリックする

-  **チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」が「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード:71709981

削除

- 1 「削除の準備 (→ p.84) の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、
「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「CyberTrio-NXアンインストール」の画面が表示されたら、「OK」
ボタンをクリックして再起動する

追加(MB12C/UVの場合)

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86) の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタ
ンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX セットアップへようこそ!」の画面が表示された
ら、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタ
ンをクリックする
- 5 「インストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

- 1** 「プロダクトの選択 (→ p.86)」の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「CyberTrio-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「Select Destination Directory」画面で「OK」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、表示された画面にインストール先を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 5** 「Install」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6** 本機を再起動する



CyberWarner-NX

OSが必要とするファイルを保護します。

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner-NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。

CyberWarner-NXを常駐させる

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner-NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

CyberWarner-NXの常駐を終了する

- 1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner-NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner-NXの終了」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

CyberWarner-NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

 **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥*. *
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd

Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥rundll.exe
¥io.sys	¥windows¥rundll32.exe
¥himem.sys	¥windows¥progman.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥control.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*. *	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥command.com	¥windows¥system.dat
¥windows¥himem.sys	¥windows¥user.dat
¥windows¥system¥sysedit.exe	
¥windows¥system¥iosubsys¥*. *	

Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

削除(MB12C/UVの場合)

 **チェック!!** 「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1** タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2** 「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウで、「はい」ボタンをクリックする
- 3** 「削除の準備 (→ p.84)」の手順1～2を行う
- 4** 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5** 「CyberWarner-NXのアンインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「CyberWarner-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

削除(MB12C/UDの場合)

 **チェック!**「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1** タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2** 「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウで、「はい」ボタンをクリックする
- 3** 「削除の準備 (→ p.84)」の手順1～2を行う
- 4** 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5** 「CyberWarner-NX Uninstall」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックする
- 6** 「Install」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

追加(MB12C/UVの場合)

- 1** 「プロダクトの選択 (→ p.86)」の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「セットアップへようこそ!」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする

- 6 「インストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

追加(MB12C/UDの場合)

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.86)」の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Install」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックする
- 4 「Select Destination Directory」画面で「OK」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、表示された画面にインストール先を入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「Install」画面が表示された場合は、「Yes」ボタンをクリックする
- 6 「CyberWarner-NX」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 95アプリケーションを日本語版Windows 95で使用する
場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 95アプリケーション
を利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されま
せん。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、
正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用した
まま、本機で日本語版Windows 95のアプリケーションを利用する場合、「ㇿ」
「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォント
を日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ㇿ」「®」→「ヨ」 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」「ヨ」→「®」 「¥」→「\」

英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロ
ールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 「フォントの追加」の「ドライブ」にCDドライブを指定する
- 4 「フォルダ」で「C:¥WINDOWS¥USFONT」をダブルクリックす
る
- 5 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」
「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal
(Set#6)」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をク
リックする

- ✓ **チェック!!** 使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で使用すると、「ウ」_u「ヨ」_y「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

日本語モードへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」(短く表示されることもあります) を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか? 」と表示されたら「はい」をクリックする

- ✓ **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 95アプリケーションをWindows 95で使用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

P A R T

5

付録

このPARTの内容

Windows 95でMS-DOSモードを利用する

本機のお手入れ

コンピュータウィルス対策

機能一覧

割り込みレベル・DMAチャンネル



Windows 95でMS-DOSモードを利用する

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する
EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

準備するもの

汚れが軽いとき

乾いたやわらかい素材のきれいな布

汚れがひどいとき

水か中性洗剤を含ませ強くしぼったきれいな布

機器クリーニング用のフキンも汚れを拭き取るのに便利です。
機器クリーニング用のフキンについてはご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。



参照 NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

パソコンのお手入れをはじめる前に

△注意



- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

パソコンのお手入れをはじめる

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。



チェック!!

- 水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

液晶ディスプレイ

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的にはこりを拭き取るようにしてください。

パソコン

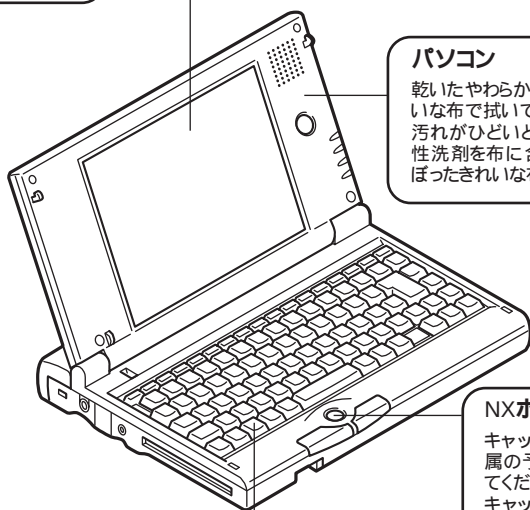
乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。

NXポイント

キャップが摩耗した場合は付属の予備キャップにつけかえてください。キャップをペン先などでひっかけて上に引き抜いたあと、予備キャップを押し込んでください。

キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。NECのお問い合わせ先:『NEC PC あんしんサポートガイド』



コンピュータウイルス対策

ここでは、コンピュータウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウイルス

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的に利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるよう、ウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

参照

VirusScanの使い方 → 「VirusScan for Windows 95」(p.119)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。届け出先(IPA)については、「VirusScan for Windows 95」のヘルプをご覧ください。

機能一覧

機能仕様

MB12C / UV、MB12C / UD

5
付録

項目	モデル	MB12C/UV	MB12C/UD
CPU		MMX®テクノロジーPentium®プロセッサ	
	周波数	120MHz	
	内蔵キャッシュメモリ	32Kバイト	
メモリ	ROM (Flash ROM)	256Kバイト (BIOS)	
	メインRAM	model A1 16Mバイト model C1, model D1 32Mバイト (増設スロット占有済)	
		最大	80Mバイト (増設RAMボード用スロットに別売の増設RAMボード (64Mバイト) を増設した場合)
	ビデオRAM	1.1Mバイト	
表示機能	表示素子	バックライト付6インチTFTカラー液晶ディスプレイ ¹	バックライト付6インチSTNカラー液晶ディスプレイ ¹
	ウィンドウアクセラレータ	Neo Magic社NM2093搭載	
	別売のCRTディスプレイ接続時	640×480ドット (26万色中256色 / 65536色 / 1677万色)	
		640×480ドット (26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 800×600ドット (26万色中256色 / 65536色) 1024×768ドット (26万色中256色)	
サウンド機能	PCM録音・再生機能	内蔵 (ステレオ) ESS社製ES1869A搭載	
	FM音源機能	内蔵 (拡張FM音源 (FM音源最大20音))	
	スピーカ	モノラルスピーカ内蔵	
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列 (英数・かな)、Fnキー (ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー付	
	ポインティングデバイス	NXポイント標準装備	
固定ディスク		内蔵 (約1.6GB)	

項目	モデル	MB12C/UV	MB12C/UD
インターフェイス	本体内蔵	赤外線通信 (IrDA1.1規格準拠、データ転送速度4Mbps)	
	ポートバー接続時	マウス(ミニDIN6ピン)、テンキーボード(ミニDIN6ピン)、外付けFDD、パラレル(D-SUB25ピン)、シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイアナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン)	
	サウンド関連	ヘッドホン出力(ステレオ、ミニジャック)	
PCカードスロット		TYPE II × 1スロット(PC Card Standard 準拠)	
パワーマネージメント		自動または任意設定可能	
セキュリティ機能		ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、キーボードロック	
バッテリー駆動時間 ⁵		約2～2.5時間 (大容量バッテリー装着時約4～5時間)	約2～2.5時間 (大容量バッテリー装着時約3.5～5.5時間)
バッテリー充電時間 ⁵		電源ON時：約5.5時間(大容量バッテリー装着時約10時間) 電源OFF時：約2.5時間(大容量バッテリー装着時約4時間)	
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 ⁵ (バッテリーフル充電時)		約4日(大容量バッテリー装着時約8日)	約3.5日(大容量バッテリー装着時約7日)
電源		リチウムイオンバッテリー(DC10.8V、1,400mAh) ² またはAC100V ± 10%、50/60Hz (ACアダプタ経由 ³)	
消費電力		約8W 内蔵オプション最大接続時約30W	
温湿度条件		10～35、20～80% (ただし、結露しないこと)	
外形寸法		210(W) × 141(D) × 28.5(H)mm(突起部含まず)	
重量		model C1, model D1 約780g	model A1 約790g model C1, model D1 約800g

1 液晶ディスプレイは消耗部品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありません。

2 バッテリーパックは消耗品です。

3 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

4 18～28、45%～75%での使用を推奨。

5 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

割り込みレベル・DMAチャンネル

本機の出荷時の設定は次のようになっています。

割り込みレベル

IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	赤外線ポート
4	通信ポート
5	サウンド
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	システムクロック
9	(空き)
10	(空き)
11	(空き)
12	NXポイント
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ (プライマリ)
15	IDEコントローラ (セカンダリ)

DMAチャンネル

DMA	インターフェイス
#0	赤外線通信*
#1	サウンド
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	サウンド

*: 赤外線通信機能使用時



索引

索引

英字

ACアダプタ	5
BIOSセットアップユーティリティ	72
CRTディスプレイ	57
DCコネクタ	2
DMAチャネル	157
Fnキー	20, 22
I/Oロック	37, 75
MS-DOSプロンプト	149
MS-DOSモード	16, 148
NXポイント	2, 26, 151
PCカード	60
PCカードイジェクトレバー	2, 62
PCカードスロット	2, 60
RAM	64

あ行

アプリケーション	82
液晶ディスプレイ	2, 151
お手入れ	150

か行

解像度	30, 32, 58
外部CRT用コネクタ	3
外部ディスプレイ	57
画面表示機能	30
キーボード	2, 20, 151
キーボードロック	37
キーボードロックランプ	2, 19
共有プリンタ	55
クリック	26
クリックボタン	2
コンピュータウィルス	152

さ行

サウンド機能	44
サスペンド機能	10
サスペンドランプ	2, 19

システムデバイス	77
充電	4
周辺機器	46
省電力機能	18
省電力の設定	78
シリアルコネクタ	3, 68
シリアルポート	68
スーパーバイザーパスワード	34, 74
スキャンディスク	28
スタンバイモード制御	78
スピーカ	2
スリープ	79
赤外線通信ポート	2, 39
セキュリティ機能	34
セキュリティの設定	74
増設RAMボード	65
増設RAMボード用スロット	3, 65
外付けフロッピーディスクドライブ用 コネクタ	3

た行

つまみ	3
デバイスドライバ	49
デバイスの設定	76
デフラグ	29
テンキーボード	69
テンキーボード用コネクタ	3, 69
電源コード	151
電源スイッチ	2
電源ランプ	2, 19
ドラッグ	27

な行

日本語入力	25
-------------	----

は行

バーチャルスクリーン	30
ハードディスク	28
ハードディスクアクセスランプ	2, 19
ハイパネーション機能	13
パスワード	34, 74
バッテリー残量	6
バッテリー充電ランプ	2, 19
バッテリー取り外しレバー	3, 8
バッテリーパック	7
バラレルコネクタ	3, 51, 68
パワーセーブ	79
パワーマネージメント	78
表示色	32, 58
表示ランプ	19
プラグ&プレイ	49
プリンタ	51
プリンタケーブル	51
フル充電	7
プロジェクタ	58
ヘッドホン端子	2
ヘルプ	83
ポートバー	3
ポートバー用コネクタ	3, 47
ポインタ	26
ホットキー機能	22
ボリュームコントロール	44
本体接続用コネクタ	3, 47

ま行

マウス用コネクタ	3, 69
メモリ	64

や行

ユーザーパスワード	34, 74
-----------------	--------

ら行

レジューム	10
-------------	----

わ行

割り込みレベル	157
---------------	-----



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

808-861644-082-A

活用ガイド

PC98-**NX** SERIES

mobio NX

3版 1998年3月

NEC

P